

2024

福島大学 大学概要

FUKUSHIMA UNIVERSITY OVERVIEW AND STATISTICS





目次 Contents

1… 学長メッセージ

Message from the President

2… 福島大学ミッション 2030

Fukushima University Mission 2030

3… 福島大学ニュース Fukushima University News

5··· 沿革略
Chronology

7… 組織機構図

Organization Structure

運営組織図

Governing Structure

8… 学群・学類・研究科・学系 Educational and Research Systems

13··· 国際交流
International Exchange

15… 歴代学長

5··· 歴代学長 List of Former and Current Presidents

16… 役職員
Administrators

経営協議会委員

Management Council

17… 教育研究評議会評議員

Education and Research Council

役職員数 Number of Executives, Faculty and Staff

18… 入学志願者及び入学者
Number of Applicants and Enrolled Students

学生の定員及び現員 Number of Students

19··· 卒業生数及び修了生数 Number of Graduates

21… 卒業生就職状況 Employment After Graduation

22… 外国人留学生数

Number of International Students

奨学生

Scholarship Students

附属学校の定員及び現員

Off-Campus K-12 Schools

23… 収入・支出決算額

Closing Accounts: Revenue and Expenditure

トピック 学長表彰

Topic President's Award

24… 科学研究費助成事業

Grants-in-Aid for Scientific Research

外部資金

Funds from Other Sources

トピック 学長表彰

Topic President's Award

25… 学術刊行物

Academic Publications

学内施設等 Campus Facilities

30… サテライト等

Satellite etc.

31··· 土地·建物面積

Properties

32… 建物配置図

Campus Map

34… 部局等の所在地案内図

Location of Offices

35… 部局等の所在地及び電話番号

Contact Addresses

36… 福島大学基金

Fukushima University Fund

福島大学公式マスコットキャラクター「めばえちゃん」



福島県阿武隈高地の深い森に棲んでいた木の妖精。

2011 (平成23) 年3月のある日、双葉郡から福島市へ移動する車の列に付いて、知らず知らずのうちに福島大学にたどり着いていました。うつくしまふくしま未来支援センターに住み着き活動を見ているうちに、福島県のみんな、特に子ども達を力づけるため活動したいと決意し、2013 (平成25) 年3月11日、センター長から47人目のセンター員として辞令を受けました。

その後,うつくしまふくしま未来支援センターのみならず,福島大学の取り組みを幅広く地域社会に広報するなどの活躍が認められ,2017 (平成29)年4月に「福島大学公式マスコットキャラクター」として任命されました。

·年 齢:4歳

・性 別:女の子

·誕生日:4月7日

・出身地:福島県阿武隈高地 ・お仕事:福島っ子の応援,福島県産品の PR 福島県の復旧・復興のお手伝い

福島大学の PR



2040年に向けて 着実な歩みを

學長 三浦 浩喜

President MIURA Hiroki



福島大学は、自らを「地域とともに21世紀的課題に立ち向かう大学」と定義し、「解のない問いにチャレンジできる人材」を育てることを目的に掲げています。13年前の東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故の発災以来、本学は一貫して被災者への支援活動を行ってきました。一連の取り組みで、問題を解決する方法と答えは現実社会の中にあるということ、新しい問題に対して用意されている答えは用をなさず、時間をかけて新しい答え、つまり「新しいやり方」を創り出さなければならない、ということを学びました。VUCA(予測不能で、不確実で、複雑で、曖昧)の時代を切り拓くには、対症療法ではなく、創造的に課題を解決する新機軸が必要です。福島大学では教育と研究、地域貢献を一体化させ、福島でこそ必要な「イノベーションの担い手」を育てたいと考えています。

本学では令和5年度に「『地域×データ』実践教育推進室」を新たに立ち上げ、地域実践型教育とデータサイエンスを掛け合わせた、EBPM (証拠に基づく政策立案) 人材の育成プログラムを開始しました。人口減少や少子高齢化、地域の疲弊などの課題に正面から向きあい、福島の復興・創生を牽引する人材を養成します。

また、研究分野では、令和6年4月に「共生システム理工学類附属水素エネルギー総合研究所」を開設し、「水素・再生可能エネルギーの地産地消ふくしまモデル」を地域と共に創出し、カーボンニュートラルの実現に貢献してまいります。さらには同学類において、令和7年度より「高度情報専門人材の確保」に向けた取り組みを始めることとし、地方の自治体や企業のDX化を強力に推進できる人材の育成を開始します。

さて、わが国は18歳人口の急減期にさしかかっており、文部科学省の推計では2040年の国内の高等教育機関の充足率は8割まで低下するとされています。これは単に受験生の減少に留まらず、大学のシステム自体の大きな変化は避けられないと思われます。本学ではこうした状況を見据え、学士課程改革を中心とした大学改革を進めております。本学のリソースを最大限に生かし、地域と研究者、学生らが語り合い、多様なプロジェクトを生成し、個人及び社会の「Well-being」の実現を目指すために、新しい教育組織や研究組織、地域連携の形を探究し、地方国立大学の新しいあり方を示そうと考えております。

今後とも、引き続き本学へのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

福島大学ミッション 2030 概要

基本理念:地域と共に21世紀的課題に立ち向かう大学

人口減少・少子高齢時代における地方の「新しい社会づくり」の実現・モデル化

福島大学は高等教育機関として、東日本大震災とそれに伴う原発事故を経験し、他大学に先駆けて教育やコミュニティ、環境、エネルギー、農業などの様々な問題に組織的・総合的に取り組んできました。これらの知見を集積させ、「地域と共に21世紀的課題に立ち向かう大学」として、目の前の問題解決に取り組みながら、新しい時代の社会システムを提案できる大学を目指します。

新しい社会と大学の目的

- ■地方分散型で経済の低成長時代を人間的, 創造的に生きていく知恵と技術
- ■人口減少・少子高齢社会でも、一人ひとりが豊かに、希望に満ちて生きていけるライフスタイル
- ■個人の Well-being, 社会の Well-being の実現をめざす大学

第4期における大学のあり方

- ■社会に開かれ、異質な人々が出会う場
- ■これからあるべき社会の姿を共に探究
- ■新しい社会をつくるための思想や価値観, 知識や技術,構想力や実践力を獲得
- ■試行錯誤,実践と反省を繰り返し新しい 社会を生み出す「社会づくりの実験室」 であるべき

人材育成方針

- ■アカデミックな学び、震災・原発事故から の経験を活かす
- 10年先の課題を見すえた人材育成
- ■地域および世界の [21世紀的課題] に取り 組むイノベーション人材の育成
- ■未来志向的, 社会のハブ, 困難な問題解決に挑み, 社会の価値観や技術を創造的に再構成しようと挑む人材

教育のあり方

- ●地域の現状・課題と大学での学びを重合, 地域実践型プロジェクト学習を拡大
- ●人材育成方針をすべての教育課程に通賃,学士課程から修士課程までの教育をシームレス に連続
- ●基礎的な知識の習得と実社会での応用, 地域と世界の問題発見, 異文化コミュニケーション, 問題解決にむけた主体的な学習, などを高度に融合
- ●PBL, ICT, STEAM, グローバル, シティズンシップ等の教育を充実

研究のあり方

- ●地域課題・21世紀的課題に対応した基盤的研究を政策的に強化, 既存の学類・研究科の研究の「強み」を明確化
- ●人文・社会・理工・農の各分野の高度な融合と総合性を実現させるために、異分野間の共同研究を推進
- 「発酵醸造研究所」を設置し、「福島国際研究教育機構 (F-REI)」へ積極的に参画し、大学全体の研究・実践フィールドとして位置づけ

地域貢献のあり方

- ●地域社会に新しい形を提案し、10年後を見すえた地域の在り方を追求
- ●大学としてなすべき社会貢献の在り方を再構築して重点化
- ●アクション・リサーチのように教育・研究に還元される仕組みをデザイン
- ●地域と協働し、学生の学びの場・研究のフィールド・地域の課題解決の3つの領域を有機的 に融合

教員養成・附属校園のあり方

- ●ICTやPBL, アクティブラーニングなどに対応できる教育者養成の高度化
- ●少子化を踏まえた経営を含む抜本的な改革,全学附属としてのメリットの強化

組織・運営のあり方

- 「地域と共に21世紀的課題に立ち向かう大学」としての教育・研究・地域貢献を可能とする新たな教育研究組織を構築
- ●学類と学系、研究科の関係性を整理し、教育と研究を車の両輪として一体的に行うことが可能となる新しい教育・研究組織を創造
- ●地方創生を目的とした定員増も見すえ,本学の発展をめざす



大学改革の進め方

- ●長期的に持続可能な新しい大学への転換をめざし改革を推進
- ●スリム化とイノベーションによる強化を進め,本学の「強み」を先鋭化
- ●県内唯一の国立大学としてリーダーシップを発揮し、県内外の高等教育機関との連携を 強化し、機能の共有・協働も実質化



NEWS 福島大学ニュース FUKUSHIMA UNIVERSITY

共生システム理工学類附属水素エネルギー総合研究所を設置しました

共生システム理工学類附属水素エネルギー総合研究所を、令和6年4月1日に設置しました。本研究所は、 福島県の重点課題の1つである水素・再生可能エネルギーに関する教育研究を推進するため、水素を中心と した再生可能エネルギーの製造、貯蔵・輸送、利用、管理という一連のエネルギー循環を強く意識した研究

上記の活動を行うため、水素エネルギーの製造から利用までを通貫した以下の2部門4グループの体制で 活動を行います。



エネルギー地産部門

■エネルギー製造グループ

福島県には、阿武隈川や猪苗代湖に代表される豊かな地上水に加え、 県土の約7割を占める森林があり、そこから生み出される地下水も豊富 に存在します。また、多くの火山も有しています。こうした豊かな自然 資源(バイオマス・水力・地熱等)を活用した新しい水素製造法の開発に 加え、火山を含む地球内部を起源とする新たな水素源の探索を行います。 この取組みの一部が、福島国際研究教育機構 (F-REI) の委託研究として開 始されました。

■エネルギー貯蔵グループ

バイオマスから環境適応型水素キャリアを獲得するための技術開発に 加え、バイオマス等から製造された水素をより安全かつ簡便に貯蔵・輸 送するための水素キャリアへの分子変換技術を開発します。また、バイ オマス起源の炭素繊維を利用し、水素を物理的に貯蔵・輸送するための 高強度複合材料等を開発します。これらの研究を統合し、水素貯蔵シス テムの最適化と材料・技術の複合化を一体的に研究します。

エネルギー地消部門

■エネルギーマネジメントグループ

地域で製造された水素を効率的に利活用するための水素需給予測や、 各種設備の最適化等のためのマネジメント技術を開発します。また、研 究成果を活用した教育プログラムの開発や、水の電気分解による水素製 造に不可欠な水資源管理、水素社会実現に向けた社会実装を県内自治体 と連携して推進します。加えて、本研究所全体の進捗管理や研究マネジ メント機能、研究成果を地域に還元するための連絡調整を行います。

■エネルギー利活用グループ

地域で製造された水素をその地域内で利活用するため、新しい原理・ 材料に基づく燃料電池システムや水電解技術の開発を始め、産業界と大 学のより一層の緊密な連携・協働を進めます。さらに、今後の需要拡大 に対応できる水素混焼や小規模水素発電・水素ボイラー等に関連した要 素技術や、発電に伴う廃熱回収システム等を開発し、企業の開発・実装 と大学がもつ科学的な技術シーズを融合させます。

以上の各グループが有機的に結びつきながら研究に取り組み、「水素・再生可能エネルギーの 地産地消ふくしまモデル」を創出してカーボンニュートラルの実現に貢献します。

福島大学共生システム理工学類附属水素エネルギー総合研究所

- ☑ 福島県の豊かな自然資源 (バイオマス・水力・地熱等) を活用した 水素製造法の開発
- ▼ 火山等、地球内部起源の新規水素源の探索

エネルギー貯蔵グル

- ☑ 水素キャリアへの分子変換技術の開発
- ☑ 水素運搬・貯蔵材料の開発

エネルギー地消部門

エネルギーマネジメントグループ ✓ エネルギー管理技術の開発

- ☑ 水資源管理、自治体と連携した社会実装の取組の推進
- ☑ 研究成果を活用した教育プログラム開発

エネルギー利活用グループ

- ☑ 燃料電池や小規模水素発電・水素ボイラー等、要素技術の開発 水素運搬・貯蔵材料の開発
- ☑ 産業界と連携した水素利活用システムの開発

水素関連企業

中核市

福島県

ハイテクプラザ

FAF

高等教育機関

FREA

F-REI

協定締結による強固な連携体制の構築

高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援事業の採択

福島大学は令和5年7月、「高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援事業」に採択されました。今回採択された区分は、 助成事業「大学・高専機能強化支援事業」のうち、「高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援:大学(一般枠)」です。

本事業では、複雑さを増す地域課題に接してきた福島大学ならではの「課題即応型の実践力を有した高度情報専門人材」の育成を目指 します。その実現に向けて、実習設備など学習環境の充実を図り、情報領域の入学定員(学類·大学院博士前期課程)を増員する計画です。

共生システム理工学類は、令和7年度から、現在の9つのコースを学生 の進路選択や就職における分かり易さに配慮した4つのコース(情報理工学、 メカトロニクス、分子デザイン科学、環境システム)に再編する予定です。 この再編にあわせて、入学定員を200名に増員(増員前は160名)する計画 (注)です。また、学類入学後の早い段階から、「大学院での学び」や「大学院 修了後の活躍像」などキャリアビジョンの獲得を支援する「実践情報工学プ ログラム|を実施する予定です。

■大学院博士前期課程

共生システム理工学研究科は、令和9年度から、共生システム理工学専 攻(博士前期課程)の入学定員を60名に増員(増員前は40名)する計画で す。また、外部研究機関との協力による「情報工学高度実践力プログラム」、 社会人や他分野出身学生の情報工学領域への転換を支援する「情報工学リス キリングプログラム」の実施に向けた検討を進めています。

共生システム理工学研究科 博士前期課程(45名→65名)

共生システム理工学専攻(60名)

- 情報理工学コース
- メカトロニクスコース
- ■分子デザイン科学コース ■環境システムコース
- 環境放射能学専攻(5名)

学士課程 理工学群

共生システム理工学類(160名→200名)

■情報理工学コース

- メカトロニクスコース
- 分子デザイン科学コース ■環境システムコース
- 数理・情報科学コース 経営システムコース 物理・システムエ学コース 物質科学コース エネルギーコース

(~R6)

- 生物環境コース 地球環境コース
- 社会計画コース

情報領域を 20 名純増



コースを再編し、情報領域を強化

※大学院のコース名は仮称。本取組は構想中であり、 今後内容に変更があり得ます。

戻している。 「地域×データ」実践教育推進室: 足とデータで地域の未来をひらく力を

令和5年4月、教育推進機構内に「地域×データ」実践教育推進室を新設しました。 地域実践教育とデータサイエンス実践演習を組み合わせた、全学的な「地域×データ」 実践教育プログラムの開発・運営を行っています。



「地域×データ」 実践教育推進室ホームページ

事業概要

全学を対象とする「地域×データ」実践教育プログラムは、「地域×データ」実践教育推進室開講科目など基盤教育科目と、各学類の専門科目によって構成されています。

本プログラムでは、「むらの大学」「自主学修プログラム」などフィールドワーク科目による地域実践教育と、「福島大学「解のない問い」に挑むデータサイエンス教育プログラム」などのデータサイエンス実践教育を高度に融合し、「地域へのかかわりを基礎として、地域の課題を科学的に捉え、その解決に向けた主体的な取組ができる個人」の育成を目指します。

また、本プログラム対象科目を履修し、必要な単位数を取得した学生に対しては、大学卒業時にプログラム修了を認定します。



地域実践科目「むらの大学」にて収穫のお手伝い をする学生の様子

既存科目の拡充・新規科目の開設

地域実践科目「むらの大学」は「むらの大学」・II」に期間を倍増し、定員枠や地域の拡大、スポットプログラム(合宿版むらの大学)の新設を行っています。またデータサイエンス科目では「社会とデータ科学の基礎」を1年前期の必修科目とし、「データ分析入門」「データサイエンス実践演習」など既存科目も福島の地域データを積極的に利用するよう改良しました。

また「福島の地域データ」「地方と若者」「EBPM入門」「地域課題とビジネス」「地域課題と探究指導」など、新たな科目を大幅に設置。「足とデータで地域の未来をひらく力を」の合い言葉のもと、地域の実情を理解した上でデータを正確に扱える実践的な人材育成に取り組んでいます。



地域実践科目「むらの大学」にて地域の方と交流 する学生の様子

▶ 災害ボランティア

令和5年9月豪雨(台風13号)に関するボランティア活動

令和5年9月8日の記録的な大雨により、多くの住宅が浸水や土砂流入などの被害を受けた福島県いわき市において、学生団体「福島大学災害ボランティアセンター」と教職員らが同月13日及び16日に、ボランティアに参加しました。当日は主に、床上浸水した家屋の泥の掃き出し、家財道具の撤去、畳の運び出しなど片付け作業を行いました。泥水を吸った畳は、15日晩の大雨により更に重みを増し、3~4人がかりで畳一枚をやっと運び出すといった状況の中、被災された方からの感謝の言葉に、参加した学生や職員からは「いわき市の復旧のため少しでも役に立てたのであれば、本当に参加してよかった」という声が多く聞かれました。



令和5年9月豪雨(台風13号) ボランティアに参加した福島大学災害ボランティアセンターのメンバーと教職員

令和6年1月能登半島地震に関するボランティア活動

本校の学生有志29名と教員は、能登半島地震の被災地支援のため、令和6年3月11日、石川県に向けて出発しました。出発式にて三浦学長は、「被災者の心に寄り添った支援活動を行っていただきたい」と激励しました。学生らは、12日~14日の間、家屋の倒壊などの被害があった七尾市にて、がれきの片づけや家財の運び出し、芋煮の炊き出しなどのボランティア活動を行いました。さらに、本校災害ボランティアセンターの学生が、キャンパス内で能登半島地震義援金の募金活動を実施し、本校校友会・基金支援室では、生協にて防災支援袋を販売し、販売価格300円のうち200円を能登半島地震災害義援金として寄附するなど、積極的にボランティア活動を行いました。



令和6年1月能登半島地震 ボランティアに参加した有志学生と教員



福島大学「学生ジャーナリスト」

福島大学では, 令和2年に学内の魅力を発信するチーム「学生ジャーナリスト(通称:GJ)」が結成され, 現在86名の学生メンバーと職員が一緒に活動しています。放送班, SNS班, 写真班, めばえ班, 翻訳班の5班で構成され, 各班が協力し合いながら, 大学公式マスコット

キャラクター「めばえちゃん」と共に、学内外に向けて「顔の見える大学」として、学生ならではの視点・立場で広報活動を行っています。学内の様々な人・団体を紹介する15分間のラジオ番組「めばえのたね」(通称:めばラジ)、SNSを使ったクイズ企画、福島大学公式YouTubeチャンネルで「めばえちゃん」が様々なことに挑戦する動画企画、Instagramを使った福島大学フォトコンテストなど、幅広い活動を通して福島大学を盛り上げています。











福大祭でのステージ発表

Chronology

明治 7.9 福島師節 学校講習所 Fukushima Normal School

沿

革

明治 9.1

福島師範

伝習校

Training School

Fukushima

明治 10.2 福島第一号

師範学校

福島第二号 師範学校

福島第三号 師範学校 Fukushima 1st

Normal School Fukushima 2nd Normal School Fukushima 3rd

Normal School

明治 19.8 明治 11.3

福鳥師節 学校

Fukushima Normal School

福島尋常

Fukushima Ordinary Normal School

師範学校

明治 20.3

福島県尋常 師範学校

Fukushima Prefectural Ordinary Normal School 明治 31.4

福島県 師範学校

Fukushima Prefectural Normal School

大正 12.4

福島県女子 師範学校

Fukushima Normal School

大正 10 12

福島高等 商業学校

Fukushima Higher Commercia School

福島経済 専門学校

昭和 194

昭和 18.4

Fukushima

Normal School

福島師節

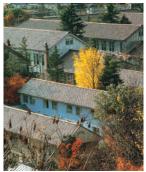
学校

Fukushima College of Economics

Fukushima University 昭和 24.5 設置 /平成 16.4 設立 国立大学法人



旧浜田町キャンパス



旧森合キャンパス

大正 9.10

福島県立 実業補習 学校教員 養成所

Fukushima Prefectural Training Center for Supplementary Vocational School Teachers

昭和 10.4

福島県立 青年学校 教員養成所

Fukushima Prefectural Young Men's Training Center for School Teachers

昭和 19.4

師範学校 Fukushima

福島青年

Young Men's Normal School for School Teachers

1949(昭和24)年5月31日, 法律第150号国立学校設置法により、福島師範学校・ 福島青年師範学校・福島経済専門学校の3校を包括して、学芸学部と経済学部の2 学部を持つ福島大学が設置されました

学芸学部(1966(昭和41)年4月に教育学部と改称)は市内浜田町に、経済学部は 市内森合の2つのキャンパスに分散していたため、1979(昭和54)年から1981(昭 和56)年にかけて現在の金谷川の地に統合移転しました。1987(昭和62)年10月に 行政社会学部を増設し、2004(平成16)年10月、国立大学法人化の中で理工学群共 生システム理工学類を創設するに伴い、学部制から学群・学類・学系制へと全学再 編しました

旧3学部を継承した3学類を人文社会学群としてくくり、理工学群とともに2学 旧3字部を継承した3字類を入文社会字群としてくくり、埋上字群とともに2字群4字類の教育組織を実現するとともに、全教員が参加する研究組織として12の字系(2023(令和5)年現在は8学系)を構築しました。また、人文社会学群は、伝統ある社会人教育を継承して、夜間主コース(現代教養コース)を設けました。大学院についても既存3研究科とともに、2008(平成20)年4月には共生システム理工学研究科を発足させました。2010(平成22)年には同研究科に博士後期課程を、2017(平成29)年には人間発達文化研究科に教職実践専攻(教職大学院)を設置しました。

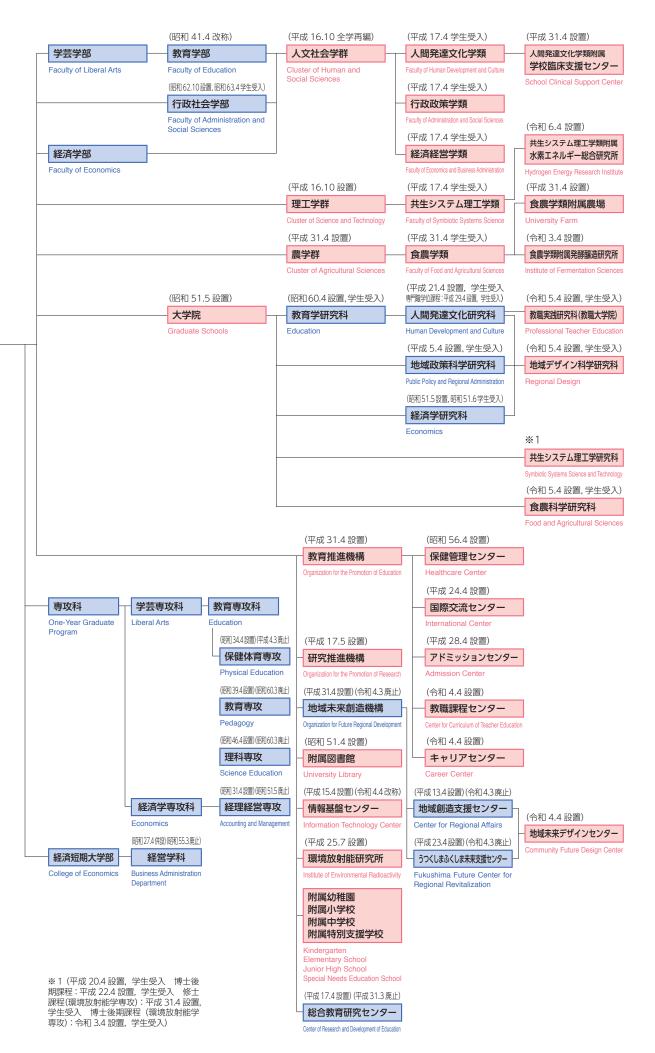
2019(平成31)年4月には、新たに農学群食農学類を開設し、3学群5学類の総 合大学として生まれ変わりました。また、現代教養コースを、「行政政策学類夜間主」 として社会人教育に特化した夜間主コースに再編したほか、大学院共生システム理 工学研究科の中に環境放射能学専攻を設置しました。

2023(令和5)年4月には大学院をリニューアルし、福島県の農業再生を加速さ せる「食農科学研究科」を新設するとともに、教職大学院を「教職実践研究科」として独立させ、人文系・社会系の既存3研究科を「地域デザイン科学研究科」へと統合し、 大学院全体の目標を「イノベーション人材の養成」に改めました。



移転当時の金谷川キャンパス







組織機構図

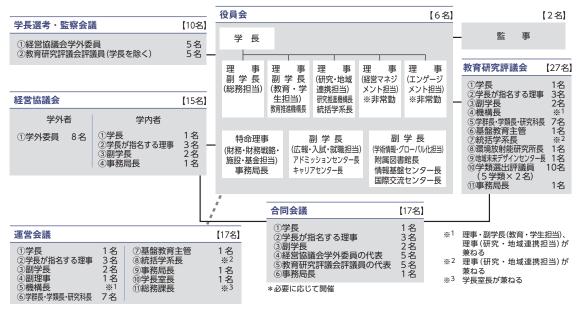
ORGANIZATION STRUCTURE



運営組織図

GOVERNING STRUCTURE

2024.7.1



EDUCATIONAL AND RESEARCH SYSTEMS

学群・学類(教育組織 Educational Systems)



福島大学では、教育組織と研究組織を分離した「学群・学類・学系制」を導入し、教育や研究における教員の相互交流を推進している。人文社会学群に「人間発達文化学類(旧教育学部)」「行政政策学類(旧行政社会学部)」「経済経営学類(旧経済学部)」の3学類を、理工学群に「共生システム理工学類」を、農学群に「食農学類」を置いている。人

文社会学群には社会人教育を担う「行政政 策学類夜間主」を設置している。

人文社会学群 Cluster of Human and Social Sciences

人間発達文化学類 Faculty of Human Development and Culture

生涯を通じた学びや人の成長を支える人材を育成

人間発達文化学類では、生涯にわたる人間の発達を個人・社会・文化との関わりにおいて支援していく人材の養成を目指しており、学校教員をはじめとして、社会の様々な分野で活躍する教育関係者、人間発達の支援者を育てる。学生は、自らの興味・関心や目指す進路に応じて、1年次から専門のコースに所属し、各コースの用意するプログラムを選択して学ぶ。この学びにより、専門に関する確かな知識・技術と実践的な応用力を身につけることができる。各種免許・資格等のうち、保育士・幼稚園教員は心理学・幼児教育コースで、特別支援学校教員は特別支援・生活科学コースで、小学校・中学校・高等学校教員は全コースで養成している。

教育実践コース	学校現場で子どもの学びを支え,確実な成長を助ける学校教員として求められる実践力 をつけることを目指す
心理学・幼児教育コース	人の行動・心理についての知識を得て,科学的手法により研究を行う心理学と,乳幼児 の発達を学び,幼児期にふさわしい経験を探る幼児教育について学ぶ
特別支援・生活科学コース	知的障害・肢体不自由・病弱などサポートを必要とする子どもたちの発達支援や家庭・ 地域社会に関わる生活科学の基礎について学ぶ
芸術・表現コース	芸術の意義を理解し、音楽や美術に関わる力量を理論的、実践的に身につけるための学びを行う
人文科学コース	言語や文学, 地域や社会のあり方, その歴史や思想など, 文化について広く深く学び, 地域の文化を継承し, 発展させていく力を養う
数理自然科学コース	身近な自然や先端的課題の中から数学や自然科学に関わる諸問題を見いだし,それらを 探究的に解決する学びを行う
スポーツ健康科学コース	スポーツ技能の向上と指導力を高め,生涯にわたるスポーツライフの実現と健康福祉に ついて学ぶ

TOPICS

福島の教育的課題に取り組む

2014(平成26)年度から「学校教育支援実習」を新たな実践実習科目として設定した。これは、学校ボランティア活動をもとに学校での教育活動を支援しながら子どもたちへの理解を深め、現場の課題に取り組んでいくものである。また、放射線と健康に関する基礎的知識や復興教育に携わる際の実践的知識と心構えなどを学ぶ「復興教育学」も開講している。本学類では、このような学びや実践を通して福島の教育的課題に取り組んでいける力量の向上を図り、福島の次世代を育てる学校教員の養成に努めている。

本学類生は大学での様々な学びをもとに、双葉郡の新たな教育を創造する取り組みにも積極的に関わって活躍している。



ふたば未来学園高校での実習支援活動



行政政策学類 Faculty of Administration and Social Sciences

地域や人々の暮らしに、学際的・実践的に貢献する

行政政策学類では、法学、政治学、行政学、社会学、歴史・文化研究等の多彩な科目をそろえ、学際的な観点から地域社会が直面している諸問題を認識するとともに、地域の人々や自治体などのさまざまな主体との協働を通して、実践的な問題解決に取り組む人材を養成する。また東北地方の国立大学文系では唯一の夜間主を設けており、働きながら学び、大学での学修を職業や地域での生活に活かすことのできる人材を育成すると同時に、さまざまな世代の共修による学びの活性化を目指している。国家公務員・地方公務員・NPO職員等の公共部門はもちろん、民間企業にも幅広く人材を輩出している。

地域政策と法コース	法や行政の仕組みを知り、政策づくりから見直しまでの一連のプロセスに取り組む	
地域社会と文化コース	地域社会と文化形成にかかわる幅広い知識を修得し、新しい地域づくりを提案し実践を めざす	
夜間主(社会人教育)	柔軟なカリキュラムで「学び]と「社会人としてのキャリア」を支える(コースは昼と同様)	

TOPICS

地域の課題を調べ、地域とともに楽しむ

本学類では昼間・夜間主とも、2年次進級の際、「地域政策と法コース」「地域社会と文化コース」のいずれかに所属する。いずれのコースでも演習(ゼミ)科目を中心に、一方向的な講義形式とは異なる、学修者の能動的な参加を取り入れたアクティブ・ラーニングが実施される。

例えば「地域社会と文化コース」の場合,「社会計画」「社会学」「地域文化」「比較文化」の4分野に所属する教員が、各分野の特徴を活かして演習を実施する。特に現地調査や実践的な活動への参加を通じて、地域社会を中心とした現代社会の諸課題に直接触れ、考える機会を設けることが、同コースでは日常的に行われている。こうして、自分事として諸課題を捉える感性を養っていく。

その一つ、3・4年次の「演習(社会調査論)」では、人口減少や少子化・高齢化の影響を受ける、計画的住宅地の再生に関する調査や実践を続けている。近年では、いわゆるニュータウンにおいて空洞化する中心施設の活用を考えるための全国規模のアンケート調査や、近隣での現地調査を行い、成果を本学類の学生論集「領風」に投稿するなど研究を進めている。そして調べるとともに、住民が参加する「まちづくりゼミ」を運営し、地域の課題をともに、むしろ楽しむ試みも行っている。

演習科目での調査や実践の経験は、最終的には学生個々がとりくむ卒業研究に活かされていく。 そして、職業生活に止まらない、この社会でよりよく生きていくための手立てとしていくのである。





近隣のニュータウンで現地調査や 「まちづくりゼミ」を実施(福島市蓬 莱団地)

経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration

100年の実績と未来への革新、福大経済

経済経営学類は、旧制福島高等商業学校以来の100年の実績を未来においてより輝かしいものとすべく革新を続けている。現在、本学類では経済学コース、経営学コースの2コースに加え、両コース横断的なグローバル・エキスパート・プログラムを設定し、両コースで学ぶ知識、技能を世界のステージで応用できる人材を育成する。2コースの下には、学生の多様な興味関心と将来の進路に対応すべく、4つの履修モデルを設定している。

経済学コース	現代の経済社会を理解し、経済の理論と応用に関わる専門的知識・能力を修得させる		
経営学コース	現代の経済社会を理解し、地域経済と経営、会計と金融の専門的知識・能力を修得させる		

TOPICS

グローバル・エキスパート・プログラム

当プログラムは、異なる文化的背景を持つ人々の中で他者に共感しつつ、自らの周りの諸課題を地球規模で考える人材育成を目的とし、欧州評議会が提唱する複言語主義に基づき、日本語、英語とともに、英語以外の外国語の学修を義務づけている。学生は、身につけた外国語運用能力を武器に、留学、海外調査、海外インターンシップなど異文化活動に参加することで、実践経験と知識をパランスよく積み重ね、自らの学修をより深いものにしている。早ければ2年次後期から1年間の留学が可能である。また、これまでに、テキサス州ヒューストン市役所でのインターンシップ、ヨーロッパやアジアの数カ国で「食」「観光」「消費行動」に関する共同調査を実施し、その成果を社会に対して積極的に発信してきた。認定基準を満たした学生には、就職活動にも利用できるよう、第6セメスター終了時に認定証を交付している。



「消費行動」に関する共同調査・発表 (「ワールドマーケット」於アオウゼ)



共生システム理工学類 Faculty of Symbiotic Systems Science

システム思考の理工系人材の育成

共生システム理工学類では、現代社会や地域の問題をシステム科学的にとらえ、その解決に主体的に寄与できる、広い視 野を持った理工系人材を育成する。そのため,人・産業・環境の共生に関わる多岐にわたった教育を行い,実践的研究を経 験する機会を提供する。

1年次では幅の広い理工学の基礎を学び、2年次からは9コースの専門分野に分かれて深く学び、3年次後期からは研究 室に配属されて演習や卒業研究を行う。

数理・情報科学コース	情報社会に貢献できる数理科学・数学,情報科学を学ぶ
経営システムコース	経営の諸問題を整理し工学的手法で解決する方法を学ぶ
物理・システム工学コース	ものや技術の創出に関わる物理や機械・電気工学を学ぶ
物質科学コース	先進的なものづくりのための物質・材料関連分野を学ぶ
エネルギーコース	持続可能な社会のための省・創・蓄エネの技術を学ぶ
生物環境コース	生物と環境の関係,自然史,生物保全の関連分野を学ぶ
地球環境コース	地球環境の現象を解明し問題解決を目指す科学を学ぶ
社会計画コース 持続可能な社会の構築を目指す総合的な計画方法を学ぶ	
心理・生理コース	心の働きや脳の仕組みを心理学や生理学から学ぶ

TOPICS

地域の課題に取り組む学生達

廃炉や除染に関する技術・再生可能エネルギー・ 福島県内の動植物・猪苗代湖や阿武隈川など、福島 県に関係する研究テーマを数多く扱っている。その ため、見学やフィールドワークは欠かすことはでき ず、年間を通じて多くの機会を設けている。現場で 見た規模と研究室で行う規模の差を意識することは, 技術を開発し社会に実装するために必要である。地 域の課題の解決にシステム思考で活躍できる人材を 育てるために、学内外で様々な活動を行っている。



発電所の2000kW級風車を



国内最大級の布引高原風力 中間貯蔵工事情報センターで説 明を受ける学生達(この後,中間 貯蔵施設構内をバスで見学)



ヘルメットを着用して入構 し, 特定廃棄物最終処分場

農学群 Cluster of Agricultural Sciences

食農学類 Faculty of Food and Agricultural Sciences

食と農をつなげて科学する

「農学専門教育」と「農学実践型教育」の2つの柱からなる農学教育により、実践的に農学を学び、食と農の課題に幅広く取 り組む力を養う。

食品科学コース	農産物や食品の機能性や高付加価値化に関する技術や知識を学ぶ	
農業生産学コース	農産物の安定生産,高品質・高収量化に関する技術と知識を学ぶ	
生産環境学コース	持続的な農林業のための環境管理・保全に関する技術と知識を学ぶ	
農業経営学コース	魅力的な農業経営,地域やフードシステムに関する知識と技能を学ぶ	

TOPICS

農場基礎実習

入学後すぐ1年生から農場基礎実習を開始する。大学の農場で稲, 野菜、果樹、花卉を栽培し、作物栽培に必要な技術や管理方法に関す る知識を習得する。播種,定植,摘果,肥培管理,病害虫管理,収穫・ 貯蔵等の基本的な作業を学ぶとともに農業機械や農機具の取り扱いに ついても学修する。併せて,農場基礎実習では「体験,観察力,コミュ ニケーション(学生同士,学生と教員,学生と地域の方々)]を養う場 でもある。この農場基礎実習を通して農業の基礎を身に付け、2年生 以降の現地での実践につなげる。



森林実習

温室での実習

地域デザイン科学研究科 Graduate School of Regional Design

地域がかかえる21世紀的課題を「デザイン思考」で解決する

地域デザイン科学研究科は、人文科学および社会科学の知を総合して今後の地域社会のあり方をデザインしていくイノベーション人材の養成を目的とする。震災・原発事故からの復興・再生、21世紀的課題の解決、「新しい社会づくり」の理論化・モデル化は、福島のみならず、日本ひいては世界の持続的発展にとって喫緊の課題である。そうした課題に、「住民目線で将来の地域のあるべき姿を描き、課題を整理したうえでその解決方法を具体的に立案・設計・試行する」というデザイン思考で立ち向かう高度専門職業人を養成するために、以下の3つの専攻を置く。

(1)人間文化専攻

人間文化専攻では、人間社会が歴史的に創り上げてきた文化、人間科学の専門的な探究と他専攻で開講されている各分野の専門科目との学際的な融合を通して、人間の全人的なあり方をデザインし、高度で多様な専門的知識を持ち、地域との協働の中で新しい価値を創造して諸問題の解決を先導できる高度専門職業人を養成する。

言語文化コース	言語学,文学,文化学,言語文化教育	
地域文化コース	歷史学,地理学,経済学,社会学,倫理学,食物学,被服学,生活科学教育	
スポーツ・芸術文化コース	スポーツ科学、音楽、美術	
人間発達心理コース	心理学,幼児教育,臨床心理	

(2)地域政策科学専攻

地域政策科学専攻では、自治やコミュニティのあり方を再デザインし、地域が直面する21世紀的課題を解決に導く力を持つ市民や高度専門職業人を養成することを目的とする。そのために、他専攻の分野も含めた人文・社会科学の諸研究の知見をもとにした複合的な視点を取り入れ、また、歴史的に形成されてきたアイデンティティや、グローバル社会の中での多様性を尊重する姿勢、現場(フィールド)での経験を重視した教育・研究を行う。

法・政策コース	公法、私法、政治・行政
	社会計画,地域文化,比較文学,社会学

(3)経済経営専攻

経済経営専攻では、グローバルな視点に立つ経済学、これまでの常識や慣例にとらわれることなく、ほかの専攻と連携しながら、確かな課題意識と豊かな想像力と着実な実践力をもって、地域および世界の21世紀的課題に果敢に挑み社会に変革をもたらす、イノベーション人材を養成する。

経済学コース	経済学,外国語,外国文化
経営学コース	経営学,会計学

共生システム理工学研究科 Graduate School of Symbiotic Systems Science and Technology

理工学的問題解決を通して持続可能な社会の構築に貢献する

学士課程で培われた知識や技術をさらに進化させ、科学技術の進化に適応する高度で広範な教育研究を提供する福島大学大学院共生システム理工学研究科共生システム理工学専攻修士課程を2008(平成20)年度に開設した。年次進行で、2010(平成22)年度からは博士後期課程を開設(修士課程は博士前期課程と改称)し、2019(平成31)年度には共生システム理工学専攻に加えて環境放射能学専攻の修士課程を本研究科に開設している。さらに2021(令和3)年度には環境放射能学専攻博士後期課程を開設(修士課程は博士前期課程と改称)した。

	数理・情報システムコース	数学, 情報科学, 経営システム工学, およびそれらを基礎とする数理・ 情報システム分野の研究
共生システム理工学専攻	物理・メカトロニクスコース	物理学,機械工学,電気電子工学,制御工学,およびそれらを基礎 とする物理・メカトロニクス分野の研究
博士前期課程	物質・エネルギー科学コース	化学,材料工学,化学工学,エネルギー工学,およびそれらを基礎 とする物質・エネルギー科学分野の研究
	生命・環境コース	生物学, 心理学, 地学, 気象学, 水文学, およびそれらを基礎とする生命・環境分野の研究
共生システム理工学専攻	共生数理システム領域	機械・電子・制御,数理情報・コンピュータ科学,経営情報システム, 技術経営(MOT),生産管理とロジスティックスシステムに関する研究
棋士後期課程	共生環境システム領域	機能性材料・資源循環・エネルギー技術, 環境の実態把握, 環境保全・ 環境再生, 衛星観測やモデリング, 人間環境システムの管理・計画, 人間の心理・生理的仕組みに関する研究
	環境放射能学コース	生態学,生物学,またはそれらを基礎とする放射生態学分野の研究
環境放射能学専攻 博士前期課程		地球科学, 現象数理学, またはそれらを基礎とする放射能モデリン グ分野の研究
		化学,物理学,機械工学,電気工学,またはそれらを基礎とする放射能計測分野の研究
環境放射能学専攻 博士後期課程	環境放射能領域	放射能(線)の計測, モニタリング計画, 予測評価, 環境修復, 放射 線防護, 廃炉, 中間貯蔵, 浄化に関する研究

食農科学研究科 Graduate School of Food and Agricultural Sciences

食と農で持続可能な社会を

食農学類の学びを継続・発展させ、福島県の農林水産業と食料・食品関連産業を発展させるための人材を養成する。被災地域における新たな経営・生産方式の導入、「ふくしま」ならではの高付加価値化の取組や環境と共生する農林水産業の推進といった福島県が抱える固有の地域課題の解決に取り組む。

本研究科は1研究科1専攻(食農科学専攻)の体制のなかに4コースを設け、学生は主指導教員が担当するコースに所属し、授業、演習を通して研究技法を学ぶとともに主指導教員と2名の副指導教員の指導を受けながら自ら研究を行い修士論文として成果をまとめる。

食品科学コース	食品科学を農場から食卓までのフードチェーンの繋がりの中に位置づけ、食材の生物学的、物理化学的な加工・保蔵技術の知識や理論に加えて、食と健康及び安全性、嗜好性などの生理学的、医学的な知識と理論を修得する。さらに先端機器分析とデータ科学による定量的化学・生物学の基礎と応用を学び、食材、加工・保蔵、生体が関わる複雑系における科学的根拠となる技術と理論を体系的に学修する。
農業生産科学コース	作物生産,食料生産,栽培資源利活用,栽培環境の諸問題を解決するための専門的で高度な知識や技術力,新規栽培品種の開発と既存品種の見直し,栽培技術の革新,病害虫の農業被害管理に関する専門的で高度な科学技術を学修する。また,研究を立案して推進する能力,データを解析し考察する能力,説得力のあるプレゼンテーション技術など,科学的・専門的で高度な専門知識と技術を学修する。
生産環境科学コース	食と農が依って立つ森林環境と農村環境を維持するため、環境調和型農林業生産、里山管理、野生鳥獣害防除、森林・農地の物質循環、農業インフラ管理、ビッグデータ・ICT・人工知能(AI)の農業への活用など、生態系の動態解明から農山村環境の管理システムまでを網羅した専門的で高度な理論及び科学技術を学修する。データサイエンスを基盤とした研究活動を行い、科学技術を社会実装するための手法を学修する。
農業経営科学コース	農業経営やフードシステム,地域・農村社会に関する高度な専門的知識を学修することにより,食と農に関わる問題群を解決するための知識と人文・社会科学的な技能を修得する。また,データサイエンスとフィールドワークの方法論,及び対話・議論の場を重視し,現場課題に立脚した研究活動を推進し,これからの農林水産業や食品産業,地域・農村社会を担える人材の養成を目指す。

教職実践研究科(教職大学院) Graduate School of Professional Teacher Education

地域課題や教育課題に果敢に挑むイノベーション人材としてのミドル・リーダーを養成する

教職実践研究科は、地域課題や教育課題を認識し、新たな教育の探究により、未来を創造し、確かな課題意識と豊かな想像力と着実な実践力を身につけることで課題に果敢に挑み、その解決に寄与する人材を養成することを目的とする。

大学院の進学者の教育とともに、県教育委員会、市町村教育委員会の協力のもと、現職教員研修の場としても機能し地域社会に貢献する。

ミドル・リーダー養成 コース	自らの教育実践力(授業力、生徒指導力など)をもとに、学級経営から学年経営・学校経営へと学校課題を視野に入れつつ、チーム学校を下支えする重要な役割を果たす教員として学校課題を解決する機動力をもった「ミドル・リーダー」を養成
授業デザインコース	自らの教育実践力(授業力、生徒指導力など)を改善し、学級経営・教科指導の力を確固たるものにするとともに、学校課題の意識をもった、「次のミドル・リーダー」を養成また、学部新卒学生を対象とし、年間を通じた学校経験を重ねながら、多様な現職教員と交流することを通じて、教育実践の課題を総体として理解し、学校教員としての自覚をもった「次世代のミドル・リーダー」を養成
特別支援教育コース	障害の重度化, 重複化, 多様化に対応でき, 特別支援学校のマネジメント力または高度な実践力を身につけた特別支援学校教員を養成

学 系 Researchers Department (研究組織 Research System)

新制度設計のもとに教育組織は学類として、研究組織は学系として位置付けられた。現在、8つの学系が存在し、各教員は自己の専門領域に応じていずれかの学系に所属し、研究活動に従事している。各教員は学系を基盤に日々研究交流を行っている。そして今日、大震災・原発事故後の地域社会の多様なニーズに応えることを重要課題として意識し、学系プロジェクトや多様なプロジェクトを通して、自治体の再生や支援、農林漁業や製造業の復興・再生、学校・教育支援などに関わっている。

教育学系

Education

人間の存在と社会ならびにそれらの発達を、教育との関係において、多面的・多角的、統合的に理解することを目的に研究を行っている。教育の現象を論じる本学系ならではの特徴である、多様なテーマと観点のもと、諸問題に理論的かつ実践的にアプローチし、体系的な知の創造に向けた模索と挑戦を重ねている。

健康・運動・心理学系

Health, Sports Science and Psychology

健康・運動・心理学系に所属する教員は、体育、スポーツ、健康科学、心理学、医学等を専門とし、人と社会の身体的・心理的健康に寄与する研究と実践を行っている。

経済・経営学系

Economics and Business Administration

経済・経営学系には大別して経済学・経営学・会計学の3つの研究分野がある。各分野では、基礎理論の発展に資する研究が積み重ねられるとともに、地域社会や企業等の抱える上記分野に関連する課題の解決に向けた研究も進められている。

応用理工学系

Applied Science and Technology

科学技術を社会に活かす目的を持って、研究を行っている。 取り扱うテーマは多岐にわたり、学問分野横断的なテーマも数 多くある。共同研究など、産学連携活動が盛んなことも特徴で ある。

地域文化・言語学系

Regional Culture and Languages

日本,アジア,世界の諸地域の社会,思想,歴史,文化,文学,芸術,言語を対象とした基礎的研究・応用的研究を推進するとともに,領域を超えた研究の連携や地域との協働的活動を通して,人間や社会の諸相について様々な視点から探究する。

法・行政・社会学系

Law, Administration and Society

政策や行政の制度の実態を踏まえ、法・政治・行政学的視点で、 社会的・経済的諸問題を研究している。また、社会の構造及び 地域社会の問題を踏まえ、政策化・社会計画化する視点で、地 域の諸課題を研究している。そして、学系領域相互の有機的関 連も視野に入れた研究を進めている。

自然科学・情報学系

Natural Sciences and Informatics

自然科学・情報学系は、数学・物理学・化学・環境科学・情報科学分野を研究領域とする教員から構成されている。

自然の真理を探究するとともに,環境保全や情報化社会などへの貢献も目指しながら研究している。

生物・農学系

Biological and Agricultural Sciences

多様な生物と地域環境をめぐる自然科学に取り組むとともに、 農林水産業や食品産業を牽引する新時代の農学を展開する。放 射能に関する研究や社会科学の研究とともに、福島ならではの 持続可能な社会の創造に貢献する。













国際交流

INTERNATIONAL EXCHANGE

海外協定校 International Partner Institutions

国名 Nation	大学名 University	締結年月日 Effective Sind	
インドネシア Indonesia	シアクアラ大学 Syiah Kuala University	2014年7月8日 Ju	
	韓国外国語大学校 Hankuk University of Foreign Studies	2006年 3 月14日 Ma	lar. 14, 2006
	ソウル市立大学校 University of Seoul		an. 27, 2011
韓国 Republic of Korea	中央大学校 Chung-Ang University		ov. 19, 2014
	培材大学校 Pai Chai University		ov. 06, 2018
	北京師範大学 Beijing Normal University		ec. 11, 1990
	華東師範大学 East China Normal University		ıl. 01, 1995
中国 China	河北大学 Hebei University		ov. 02, 199
	中南財経政法大学 Zhongnan University of Economics and Law		lar. 22, 200
	西南交通大学 Southwest Jiaotong University		ep. 01, 201
	重慶理工大学 Chongqing University of Technology		ct. 29, 2014
フィリピン Philippines	アテネオ・デ・マニラ大学 Ateneo de Manila University	2017年7月11日 Ju	ıl. 11, 2017
	サン・カルロス大学 University of San Carlos	2022年 6 月21日 Ju	ın. 21, 202
	ベトナム国家大学ハノイ人文社会科学大学 VNU University of Social Sciences and Humanities	2001年 6 月20日 Ju	ın. 20, 200
ベトナム Viet Nam	ベトナム国家大学ハノイ自然科学大学 VNU University of Science	2007年 9 月24日 Se	ep. 24, 200
Viet Nam	ホアセン大学 Hoa Sen University	2016年 2 月18日 Fe	eb. 18, 201
	トゥイロイ大学 Thuy loi University	2016年12月6日 De	ec. 06, 201
マレーシア Malaysia	マレーシア国際イスラム大学 International Islamic University Malaysia	2021年 5 月21日 Ma	lay. 21, 202
Eンゴル Mongolia	モンゴル生命科学大学 Mongolian University of Life sciences	2023年 7 月27日 Ju	ıl. 27, 2023
/ Safe ·	国立台北大学 National Taipei University	2007年4月3日 Ap	pr. 03, 200
台湾 Taiwan	文藻外語大学 Wenzao Ursuline University of Languages	2017年 9 月28日 Se	ep. 28, 201
オーストラリア Australia	クイーンズランド大学 University of Queensland		ct. 26, 200
	ウィスコンシン大学オークレア校 University of Wisconsin Eau Claire	1992年12月8日 De	ec. 08, 199
	ミドルテネシー州立大学 Middle Tennessee State University		ıl. 02, 1996
	ニューヨーク州立大学アルバニー校 University at Albany, State University of New York		ec. 26, 201
	コロラド州立大学 Colorado State University		un. 03, 201
米国 U.S.A	サンフランシスコ州立大学 San Francisco State University		an. 24, 201
★■ 0.3.A			
			un. 10, 201
	ジョージア大学 University of Georgia		ep. 02, 201
	セント・トーマス大学 University of St. Thomas		ov. 17, 201
	ルイジアナ州立大学 Louisiana State University		ct. 15, 2018
カナダ Canada	ブリティッシュコロンビア大学 University of British Columbia	2016年 4 月28日 Ap	pr. 28, 201
	マクマスター大学 McMaster University	2017年8月4日 Au	ug. 04, 201
	ウクライナ国立生命環境科学大学 National University of Life and Environmental Sciences of Ukraine	2015年4月1日 Ap	pr. 01, 201
ウクライナ Ukraine	チェルニーヒウ国立工科大学 Chernihiv National University of Technology	2015年4月1日 Ap	pr. 01, 201
	オデッサ国立環境大学 Odessa State Environmental University	2015年4月1日 Ap	pr. 01, 201
	スターリング大学 University of Stirling	2008年 1 月25日 Ja	an. 25, 200
	ウィンチェスター大学 University of Winchester	2010年 5 月29日 Ma	ay. 29, 201
英国 United Kingdom	グラスゴー大学 University of Glasgow	2017年3月6日 Ma	ar. 06, 201
	ポーツマス大学 University of Portsmouth	2017年6月7日 Ju	un. 07, 201
	ノーサンブリア大学 Northumbria University	2017年7月13日 Ju	ıl. 13, 2017
オランダ Netherlands	ハンザUAS・フローニンゲン大学 Hanze University of Applied Sciences, Groningen	2017年7月5日 Ju	ıl. 05, 2017
スウェーデン Sweden	リンネ大学 Linnaeus University	2024年 3 月26日 Ma	ar. 26, 202
スペイン Spain	サラゴサ大学 University of Zaragoza	2018年 2 月28日 Fe	eb. 28, 201
スロベニア Slovenia	リュブリャナ大学 University of Ljubljana		eb. 28, 201
セルビア Serbia	ベオグラード大学 University of Belgrade		lar. 06, 201
	ルール大学ボーフム Ruhr-University Bochum		ct. 08, 200
	ハノーファー大学 Leibniz University Hannover		un. 10, 201
ドイツ Germany	ルードヴィヒスハーフェン経済大学 Ludwigshafen University of Business and Society		
			pr. 21, 201
/II - N	ミュンスター応用科学大学 FH Münster University of Applied Sciences		lay. 16, 20
ノルウェー Norway	/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /		ug. 18, 20
Nンガリー Hungary	カーロリ・ガーシュパール・カルビン派大学 Károli Gáspár University of the Reformed Church		ın. 28, 201
ベラルーシ Belarus	ベラルーシ国立大学 Belarusian State University		eb. 24, 201
レーマニア Romania	ブカレスト大学 University of Bucharest	2011年12月22日 De	ec. 22, 20
ロシア Russia	極東国立交通大学 Far Eastern State Transport University	2017年 1 月11日 Ja	an. 11, 201
		2016年 3 月12日 Ma	ar. 12, 201
- Hadda	アンカラ大学 Ankara University	20:01073:28	
トルコ Turkey	アクカラズ字 Ankara University 中東工科大学 Middle East Technical University		pr. 28, 201

国名 Nation	大学名 University
	韓国外国語大学校 Hankuk University of Foreign Studies
the Decublic of Manage	ソウル市立大学校 University of Seoul
韓国 Republic of Korea	中央大学校 Chung-Ang University
	培材大学校 Pai Chai University
	華東師範大学 East China Normal University
中国 China	河北大学 Hebei University
	重慶理工大学 Chongqing University of Technology
フィリピン Philippines	アテネオ・デ・マニラ大学 Ateneo de Manila University
	ベトナム国家大学ハノイ人文社会科学大学 VNU University of Social Sciences and Humanities
ベトナム Viet Nam	トゥイロイ大学 Thuy loi University
マレーシア Malaysia	マレーシア国際イスラム大学 International Islamic University Malaysia
4. Table	国立台北大学 National Taipei University
台湾 Taiwan	文藻外語大学 Wenzao Ursuline University of Languages
	ニューヨーク州立大学アルバニー校 University at Albany, State University of New York
	コロラド州立大学 Colorado State University
	サンフランシスコ州立大学 San Francisco State University
米国 U.S.A	オザークス大学 University of Ozarks
	セント・トーマス大学 University of St. Thomas
	ルイジアナ州立大学 Louisiana State University
	ノーサンプリア大学 Northumbria University
	グラスゴー大学 University of Glasgow
英国 United Kingdom	スターリング大学※ University of Stirling
	ウィンチェスター大学※ University of Winchester
オランダ Netherlands	ハンザUAS・フローニンゲン大学 Hanze University of Applied Sciences, Groningen
スペイン Spain	サラゴサ大学 University of Zaragoza
スロベニア Slovenia	リュブリャナ大学 University of Ljubljana
セルビア Serbia	ベオグラード大学 University of Belgrade
	ルール大学ボーフム Ruhr-University Bochum
	ハノーファー大学 Leibniz University Hannover
ドイツ Germany	ルードヴィヒスハーフェン経済大学 Ludwigshafen University of Business and Society
	ミュンスター応用科学大学 FH Münster University of Applied Sciences
ハンガリー Hungary	カーロリ・ガーシュパール・カルビン派大学 Károli Gáspár University of the Reformed Church
ベラルーシ Belarus	ベラルーシ国立大学 Belarusian State University
ルーマニア Romania	ブカレスト大学 University of Bucharest
ロシア Russia	極東国立交通大学 Far Eastern State Transport University
	アンカラ大学 Ankara University
トルコ Turkey	中東工科大学 Middle East Technical University
	エーゲ大学 Ege University

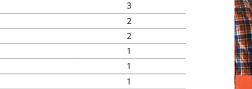
※ スターリング大学、ウィンチェスター大学は、本学学生派遣に係る付帯協定を締結

学生交流協定における交換留学 Student Exchanges

2023.4.1-2024.3.31

派 遣 大 学 Host Institution	人 数 Number of Students
オザークス大学 University of Ozarks	3
ノーサンブリア大学 Northumbria University	2
サラゴサ大学 University of Zaragoza	2
セント・トーマス大学 University of St. Thomas	1
ハノーファー大学 Leibniz University Hannover	1
ルードヴィヒスハーフェン経済大学 Ludwigshafen University of Business and Society	1
カーロリ・ガーシュパール・カルビン派大学 Károli Gáspár University of the Reformed Church	1
中東工科大学 Middle East Technical University	1

受 入 大 学 Home Institution	人数 Number of Students
河北大学 Hebei University	8
ルール大学ボーフム Ruhr-University Bochum	6
ルードヴィヒスハーフェン経済大学 Ludwigshafen University of Business and Society	4
カーロリ・ガーシュパール・カルビン派大学 Károli Gáspár University of the Reformed Church	4
文藻外語大学 Wenzao Ursuline University of Languages	3
ハンザUAS・フローニンゲン大学 Hanze University of Applied Sciences, Groningen	2
ベラルーシ国立大学 Belarusian State University	2
ノーサンブリア大学 Northumbria University	1
ハノーファー大学 Leibniz University Hannover	1
ミュンスター応用科学大学 FH Münster University of Applied Sciences	1
ウクライナ国立生命環境科学大学 National University of Life and Environmental Sciences of Ukraine	1













歴代学長

LIST OF FORMER AND CURRENT PRESIDENTS





安田 初雄 YASUDA Hatsuo (事務取扱) 昭46.4.1~昭48.2.16 S46.11(評)統合推進方針 を最終決定



日 井 嘉 -USUI Yoshikazu 平14、2.16~平16、3.31 平16、4.1~平18、3.31 H16.4回立大学法人福島 大学として学生受入開始 H16.10福島大学全学再 編、3学部から2学群4学 類12字系制度へ移行、人 文社会学群に夜間主コースを設置



阿 部 久 次 ABE Kyuji 昭29. 2.17~昭32. 2.16 昭32. 2.17~昭35. 2.16 昭35. 2.17~昭37.10.30 S31.4(経)経済学専攻科 設置(経理経営専攻)



渡 辺 源次郎 WATANABE Genjiro 昭51. 2.16~昭54. 2.15 昭54. 2.16~昭56. 2.15 551.5(除経) 大学院·経 海学研究科(経済学専攻) 修士課程前級 経済学郎 専攻科廃止 552.4(育) 附属養護学校 設體 554.4(育) 幼稚園教員養 成課程設置



 今野順夫

 KONNO Toshio

 平18.4.1~平22.3.31

 H20.4大学院共生システム理工学研究科(修士課程)設置

 H21.4大学院人間発達文化研究科(修士課程)設置



服 部 英太郎 HATTORI Eitaro 昭37.10.30〜昭40.10.29 昭40.10.30〜昭40.12.20 S39.4(芸) 専攻科に教育 専攻設置(学生定員5) S40.4(経)経営学科拡充 改組・学生定員40増



伊藤 巳喜夫 ITO Mikio 昭56. 2.16~昭59. 2.15 S56.4保健管理センター 設置、(育)教育実践研究 指導センター設置



入戸野 修 NITTONO Osamu 平22.4、1〜平26.3.31 H22.4大学院共生システム理工学研究科(博士課 担設置 H23.4ラつくしまふくしま 末来支援センター設置 H24.4国際交流センター 設置 H25.7環境放射能研究所 設置



平 井 博 HIRAI Hiroshi (事務取扱) 昭40.12.20〜昭41. 2.18 S40.12服部英太郎学長急 逝のため、平井博学芸学 部長が学長事務取扱に就 任







海後勝雄 KAIGO Katsuo 昭41.2.18~昭43.10.15 S41.4(芸)教育学部に名 杨を変更.(育)特別教科 (理科)教員養成課程設置 (学生定員30).(育)附属 幼稚團設置 S42.4(育)附属小学校に 特殊学級設置



篠 笥 憲 爾 SASAKI Kenji 平元. 2.16〜平4. 2.15 H1.4(行) (経) 福島大学地 域研究センター発足 H3.4(経) 16講座を5大講 座に再編成





玉 山 勇 TAMAYAMA Isamu (事務取扱) 昭43.10.15〜昭44.12. 4 昭48. 2.16〜昭51. 2.15 S44.4(育)附属中学校に 特殊学級設置。福島大学 計算センター設置 S48.3(文)に移転統合計 画書を提出



 星
 埜
 惇

 HOSHINO Atsushi

 平4. 2.16~平7. 2.15

 H5.4(院行) 地域政策科学研究科設置



野 村 正 次 NOMURA Masaji (事務取扱) 昭44.12. 4~昭46. 3.31 S45.7統合に関するマス タープラン作成委員会設置



吉 原 泰 助 YOSHIHARA Taisuke 平7. 2.16~平10. 2.15 平10. 2.16~平12. 2.15 平12. 2.16~平14. 2.15 H7.4生涯学習教育研究センター設置 H13.4地域創造支援センター設置

役 職 員

ADMINISTRATORS

					2024.7.1
学長 President	Ξ	浦	浩	喜	MIURA Hiroki
理事・副学長(総務担当) Executive Director・Vice President (General Affairs)	佐	野	孝	治	SANO Koji
理事・副学長(教育・学生担当) Executive Director・Vice President (Education and Academic Affairs) 教育推進機構長 Director, Organization for the Promotion of Education	谷		雅	泰	TANI Masayasu
理事(研究・地域連携担当) Executive Director (Research and Regional Affairs) 研究推進機構長 Director, Organization for the Promotion of Research 統括学系長 Chair, Researchers' Department	松	Ш		幹	MATSUDA Tsukasa
理事(経営マネジメント担当)※非常勤 Executive Director (Business Management Affairs)	鈴	木	廣	明	SUZUKI Hiroaki
里事(エンゲージメント担当) ※非常勤 Executive Director (Engagement Affairs)	濱	津		ヒみ	HAMATSU Satomi
特命理事 (財務・財務戦略・施設・基金担当) Special Mission Director (Finance, Financial Strategy, Facility and Fund Affairs 事務局長 Director General) 齋	藤	康	行	SAITO Yasuyuki
監事 Auditor	上	井	喜	彦	KAMII Yoshihiko
监事 Auditor	橋	本	潤	子	HASHIMOTO Junko
副学長(広報・入試・就職担当) Vice President (Public Relations, Admission and Employment Affairs) アドミッションセンター長 Director, Admission Center キャリアセンター長 Director, Career Center	Ш	ф		明	TANAKA Akira
副学長(学術情報・グローバル化担当) Vice President (Academic Information and Global Affairs) 附属図書館長 Director, University Library 青報基盤センター長 Director, Information Technology Center 国際交流センター長 Director, International Center	菊	地	芳	朗	KIKUCHI Yoshio
副理事 Vice Director 事務局次長 Deputy Director General	Ш	崎		裕	YAMAZAKI Yutaka
文社会学群長 Provost, Cluster of Human and Social Sciences	井	上		健	INOUE Ken
型工学群長 Provost, Cluster of Science and Technology	長	橋	良	隆	NAGAHASHI Yoshitaka
是学群長 Provost, Cluster of Agricultural Sciences	荒	井		聡	ARAI Satoshi
、間発達文化学類長 Dean, Faculty of Human Development and Culture	初	澤	敏	生	HATSUZAWA Toshio
可政政策学類長 Dean, Faculty of Administration and Social Sciences	高	橋		準	TAKAHASHI Jun
A PART A	井	上		健	INOUE Ken
大生システム理工学類長 Dean, Faculty of Symbiotic Systems Science	長	橋	良	隆	NAGAHASHI Yoshitaka
建農学類長 Dean, Faculty of Food and Agricultural Sciences	荒	井		聡	ARAI Satoshi
b域デザイン科学研究科長 Dean, Graduate School of Regional Design	小	野原	雅	夫	ONOHARA Masao
共生システム理工学研究科長 Dean, Graduate School of Symbiotic Systems Science and Technology	長	橋	良	隆	NAGAHASHI Yoshitaka
t 農科学研究科長 Dean, Graduate School of Food and Agricultural Sciences	荒	井		聡	ARAI Satoshi
文職実践研究科長 Dean, Graduate School of Professional Teacher Education	宗	形	潤	子	MUNAKATA Junko
R健管理センター所長 Director, Healthcare Center	片	Ш	規	央	KATAYAMA Tadahiro
な職課程センター長 Director, Center for Curriculum of Teacher Education	森	本		明	MORIMOTO Akira
地域未来デザインセンター長 Director, Community Future Design Center	鈴	木	典	夫	SUZUKI Norio
環境放射能研究所長 Director, Institute Environmental Radioactivity	難	波	謙	Ξ	NANBA Kenji
基盤教育主管 Director, Foundation Education	福	富	靖	之	FUKUTOMI Yasuyuki
I属幼稚園長 Kindergarten Principal	Ш	Ш		潤	KAWATA Jun
I属小学校長 Elementary School Principal	井	實	充	史	IJITSU Michifumi
Japi School Principal Junior High School Principal	小	Ш		宏	OGAWA Hiroshi
大大学校長 Special Needs Education School Principal	朝	智	俊	彦	ASAKA Toshihiko
是安長 Chief, President Unit	森	津	宏	枝	MORITSU Hiroe
查室長 Chief, Auditing Unit	伊	藤	敬	義	ITO Takayoshi
務課長 Chief, General Affairs Division		津			MORITSU Hiroe
事課長 Chief, Personnel Division	栗	_		カ	
接線長 Chief, Financial Affairs Division		木澤		寛	YAGISAWA Hiroshi
超課長 Chief, Facilities Division	阿	部	高	男	ABE Takao
放務課長 Chief, Educational Affairs Division	加	藤	Ŧ	里	KATO Chisato
学生・留学生課長 Chief, Student and Student Studying Abroad Affairs Division	渡			仁	WATANABE Yoshihito
ニャリア支援課長 Chief, Career Support Division	紺	野			KONNO Natsuyo
試課長 Chief, Admissions Office		村		美	KIMURA Matsumi
研究・地域連携課長 Chief, Research Promotion and Regional Collaboration Division	木		勝	典	KIMURA Katsunori
··· ··· - · · · · · · · · · · · · ·			清	Ξ	

経営協議会委員

MANAGEMENT COUNCIL

2024.7.1

学外	委員				
石	Ш	純	恵	株式会社クリフ代表取締役	ISHIYAMA Sumie
岩	渕		明	岩手大学名誉教授	IWABUCHI Akira
遠	藤	雄	幸	川内村村長	ENDO Yuko
加	藤	知	道	元福島県立橘高等学校校長	KATO Tomomichi
丹	治	典	夫	福島市政策調整部次長	TANJI Norio
±	\blacksquare		淳	一般財団法人大原記念財団副理事長	TSUCHIDA Atsushi
中	村	考	昭	ゼビオホールディングス株式会社副社長執行役員	NAKAMURA Takaaki
羽	\blacksquare	貴	史	広島大学名誉教授・東北大学名誉教授	HATA Takashi
学内	委員				
Ξ	浦	浩	喜	学長	MIURA Hiroki
佐	野	孝	治	理事・副学長(総務担当)	SANO Koji
谷		雅	泰	理事・副学長(教育・学生担当)	TANI Masayasu
松	Ш		幹	理事 (研究・地域連携担当)	MATSUDA Tsukasa
Ш	中		明	副学長(広報・入試・就職担当)	TANAKA Akira
菊	地	芳	朗	副学長(学術情報・グローバル化担当)	KIKUCHI Yoshio
齍	藤	康	行	事務局長	SAITO Yasuyuki





教育研究評議会評議員

EDUCATION AND RESEARCH COUNCIL

2024.7.1

三 浦 浩 喜	学長	MIURA Hiroki
佐 野 孝 治	理事・副学長(総務担当)	SANO Koji
谷 雅泰	理事・副学長(教育・学生担当)	TANI Masayasu
松 田 幹	理事 (研究・地域連携担当)	MATSUDA Tsukasa
田 中 明	副学長(広報・入試・就職担当)	TANAKA Akira
菊 地 芳 朗	副学長(学術情報・グローバル化担当)	KIKUCHI Yoshio
初澤 敏生	人間発達文化学類長	HATSUZAWA Toshio
高 橋 準	行政政策学類長	TAKAHASHI Jun
井 上 健	経済経営学類長	INOUE Ken
長 橋 良 隆	共生システム理工学類長	NAGAHASHI Yoshitaka
荒 井 聡	食農学類長	ARAI Satoshi
牧 田 実	人間発達文化学類教授	MAKITA Minoru
安 田 俊 広	人間発達文化学類教授	YASUDA Toshihiro
今 西 一 男	行政政策学類教授	IMANISHI Kazuo
福島雄一	行政政策学類教授	FUKUSHIMA Yuichi
奥 本 英 樹	経済経営学類教授	OKUMOTO Hideki
熊 澤 透	経済経営学類教授	KUMAZAWA Toru
大 山 大	共生システム理工学類教授	OYAMA Dai
柴 崎 直 明	共生システム理工学類教授	SHIBASAKI Naoaki
神宮字 寛	食農学類教授	JINGUJI Hiroshi
新 田 洋 司	食農学類教授	NITTA Yoji
小野原 雅 夫	地域デザイン科学研究科長	ONOHARA Masao
長 橋 良 隆	共生システム理工学研究科長	NAGAHASHI Yoshitaka
荒 井 聡	食農科学研究科長	ARAI Satoshi
宗 形 潤 子	教職実践研究科長	MUNAKATA Junko
福富靖之	基盤教育主管	FUKUTOMI Yasuyuki
難波謙二	環境放射能研究所長	NANBA Kenji
鈴木典夫	地域未来デザインセンター長	SUZUKI Norio
齋藤康行	事務局長	SAITO Yasuyuki

役職員数

NUMBER OF EXECUTIVES, FACULTY AND STAFF

			職種	役	員 Dire	ctors		准教授		助教		計	附属学校教員	事務系職員	
_	^		Classification	学長 Presiden	理事 Executive Director	監事 Auditor	教授 Professors	A	講師 Lecturers	Applications	助手 Instructors	Sub Total	Teachers of Special School	Administration Officers	合計 Total
	分	Division	1	Presiden	W 4	2 ^{*2}	132			1	0	229		130**3	443
Nu		of Regular St		'				84	4			229	84	130	443
	役 Direct		員	1	5 ^{**1}	2*2						8			8
		発達文化学 of Human Develop	類 pment and Culture				31	18	2			51			51
		政策学 of Administration a	類 nd Social Sciences				22	15				37			37
	経済 Faculty of	経営学 Economics and Bu	類 siness Administration				20	14				34			34
	共生シ Faculty	ノステム理工 ^s of Symbiotic S	学類 ystems Science				33	16				49			49
	食 Faculty (農 学 stof Food and Agri	類 icultural Sciences				18	14	1			33			33
		関書 1 rsity Library	館												
		き理センタ・ ncare Center					1					1		2	3
		来デザイン・ iunity Future [センター Design Center				1					1			1
		盤盤センター nation Techno	ology Center					1				1			1
		推進機 ation for the Prom	構 lotion of Education					2				2			2
		i床支援セン: ol Clinical Su	9- pport Center				2	1				3			3
		交流センタ ational Cente							1			1			1
		ミッションセ: ssion Center	ンター												
		シビリティ: sibility supp								1		1			1
		放射能研究序 e of Environmen	听 ital Radioactivity				4	3				7			7
	附 属 Kinder	易幼稚 I rgarten	類										4		4
	附 属 Eleme	引 学 intary Schoo	校 										29		29
	附 属 Junior	中学 High Schoo	校										22		22
		寺別支援学村 al Needs Edu	交 cation School										29		29
	事 Admin	務 nistration Bur	局 reau											128	128
	% 1	常勤3名,非	常勤2名	* 2	監事は非常	勤	※3 各	部局等に配	置される	職員を含む	ì				

入学志願者及び入学者

NUMBER OF APPLICANTS AND ENROLLED STUDENTS

学群・学類 UNDERGRADUATES

2024.5.1 **大学院(修士課程・博士前期課程・専門職学位課程)** GRADUATE SCHOOL 2024.5.1

学群・学類 Cluster・Faculty	入学志願者 Number of Applicants	入学者 Number of Students Admitted
人文社会学群 Cluster of Human and Social Sciences	2,234	731
人間発達文化学類 Faculty of Human Development and Culture	860	278
行政政策学類(昼間) Faculty of Administration and Social Sciences (Daytime)	650	194
行政政策学類(夜間主) Faculty of Administration and Social Sciences (Evening)	42	21
経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration	682	238
理工学群 Cluster of Science and Technology	571	163
共生システム理工学類 Faculty of Symbiotic Systems Science	571	163
農学群 Cluster of Agricultural Sciences	343	104
食農学類 Faculty of Food and Agricultural Sciences	343	104
合 計 Total	3,148	998

> 4 2 1/0 (1/5 T D) T 1/2 T 1/3 (1/2 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2	ישין בשיוים (בואשבו נישיר	12 0011002
研究科 Graduate School	入学志願者 Number of Applicants	入学者 Number of Students Admitted

Graduate School	Applicants	Admitted
地域デザイン科学研究科 Regional Design	55	32
共生システム理工学研究科 Symbiotic Systems Science and Technology	65	55
食農科学研究科 Food and Agricultural Sciences	36	35
教職実践研究科(教職大学院) Professional Teacher Education	8	8
合工計	164	130

[※]共生システム理工学研究科と食農科学研究科は10月期入学試験も実施予定。表では令和6年度4月期入学のみ計上。 ※令和5年度の10月期入学 共生システム理工学研究科で入学志願者2名,入学者2名 食農科学研究科で入学志願者2名,入学者1名

大学院(博士後期課程)	GRADUATE SCH	OOL 2024.5.1
研究科 Graduate School	入学志願者 Number of Applicants	入学者 Number of Students Admitted
共生システム理工学研究科 Symbiotic Systems Science and Technology	5	4
合 計 Total	5	4

学生の定員及び現員

NUMBER OF STUDENTS

	UNDERGRADUATES
学群・学類	

	区 分 Classification	入wina	収gestar		現		ent Number	of Students	
学群・学類 Cluster・Faculty	Classification	Annual Quota for New Applicants 入学定員	Standard Student Capacity 収容定員	1年 1st year	2年 2nd year	3年 3rd year	4年 4th year	合 Tota	āt al
人文社会学群 Cluster of Human and Social Sciences		685 30	2,740 @	392 339	359 366	341 380	416 378	1,508 1,463	2,971
人間発達文化学類 Faculty of Human Development and Culture		260 10	1,040	112 166	116 168	95 177	127 167	450 678	1,128
行政政策学類 Faculty of Administration and Social Sciences		205 10	820 20	110 105	105 109	111 108	122 119	448 441	889
昼間 Daytime		185 10	740 20	96 98	96 96	101 99	108 110	401 403	804
夜間主 Evening		20	80	14 7	9 13	10 9	14 9	47 38	85
経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration		220 10	880 20	170 68	138 89	135 95	166 90	609 342	951
夜間主コース (現代教養コース) Course of Liberal Arts for Modern Society				0	0	0	1 2	1 2	3
理 工 学 群 Cluster of Science and Technology		160	640	126 37	128 45	132 41	166 37	552 160	712
共生システム理工学類 Faculty of Symbiotic Systems Science		160	640	126 37	128 45	132 41	166 37	552 160	712
農 学 群 Cluster of Agricultural Sciences		100	400	50 54	55 60	52 49	51 57	208 220	428
食農学類 Faculty of Food and Agricultural Sciences		100	400	50 54	55 60	52 49	51 57	208 220	428
合 計 Total		945 30	3,780 @	568 430	542 471	525 470	633 472	2,268 1,843	4,111
* OHOKY63 ### # BARK	田マ 土立向は								

^{**} \bigcirc は3年次編入学生定員で外数 ** 黒文字は男子、 $\frac{1}{5}$ な子 ** 夜間主コース (現代教養コース) の学生受入は平成30年度まで

大学院(修士課程・博士課	程・専門職字位課程) GRADI	JATE SCHOOL				2024	4.5.1
研究科名 Graduate School	専 攻 名 Majors	課程名 Course	入学定員 Annual Quota for New Applicants	収容定員 Standard Student Capacity	現 員 Present Number of Students	合計	Total
	人間文化専攻 Human Culture and Science	修士課程 Master	20	40	16 24		40
地域デザイン科学研究科 Regional Design	地域政策科学専攻 Public Policy and Regional Administration	修士課程 Master	8	16	3 7		10
	経済経営専攻 Economics and Business Administration	修士課程 Master	14	28	9		11
	共生システム理工学専攻 Symbiotic Systems Science and	博士前期課程 Master	40	80	93 16		109
共生システム理工学研究科 Symbiotic Systems Science and Technology	Technology	博士後期課程 Doctor	4	12	10 3		13
	環境放射能学専攻	博士前期課程 Master	5	10	6 0		6
	Environmental Radioactivity	博士後期課程 Doctor	2	6	3 2		5
食農科学研究科 Food and Agricultural Sciences	食農科学専攻 Food and Agricultural Sciences	修士課程 Master	20	40	49 30		79
教職実践研究科 Professional Teacher Education	教職高度化専攻 Advanced Practice for Professional Teacher	専門職学位課程(教職大学院) Professional Degree	12	24	9 14		23
人間発達文化研究科	地域文化創造専攻 Creation of Regional Culture	修士課程 Master			0		1
Human Development and Culture	学校臨床心理専攻 School and clinical Psychology	修士課程 Master			0		1
地域政策科学研究科 Public Policy and Regional Administration	地域政策科学専攻 Public Policy and Regional Administration	修士課程 Master			4 4		8
経済学研究科	経済学専攻 Economics	修士課程 Master			1 0		1
Economics	経営学専攻 Business Administration	修士課程 Master			6 1		7
	合 計 Total		125	256	209 105		314

黒文字は男子、赤文字は女子 ※ 令和5.4地域デザイン科学研究科、食農科学研究科、教職実践研究科開設(令和5.4学生受入) 人間発達文化研究科、地域政策科学研究科、経済学研究科の学生受入は令和4年度まで



編入学・学士入学は除く 私費外国人留学生,国費留学生,マレーシア政府派遣留学生を含む



卒業生数及び修了生数

NUMBER OF GRADUATES

学群・学類 UNDERGRADUATES

2024.5.1

TH TRE UNDERGRADUATES							2024.5.1
区 分 Classification 課程及び学科 Course or Department	H20~ H30 2008~ 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	計 Total
人文社会学群 Cluster of Human and Social Sciences	8,848	791	834	786	713	702	12,674
人間発達文化学類 Faculty of Human Development and Culture	3,155	293	297	291	273	264	4,573
行政政策学類(夜間主を含む) Faculty of Administration and Social Sciences	2,485	205	222	222	222	219	3,575
経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration	2,575	233	253	220	214	217	3,712
現代教養コース Course of Liberal Arts for Modern Society	633	60	62	53	4	2	814
理工学群 Cluster of Science and Technology	1,898	188	175	190	151	152	2,754
共生システム理工学類 Faculty of Symbiotic Systems Science	1,898	188	175	190	151	152	2,754
農学群 Cluster of Agricultural Sciences					103	91	194
食農学類 Faculty of Food and Agricultural Sciences					103	91	194
合 計 Total	10,746	979	1,009	976	967	945	15,622

[※] 平成16.10全学再編により,教育学部・行政社会学部・経済学部を人文社会学群(人間発達文化学類・行政政策学類・経済経営学類)に改組,理工学群(共生システム 理工学類)を新設(平成17.4学生受入)

大 学 院 GRADUATE SCHOOL

科·課程 Course	修了年度 Year	\$52~ H29 1977~ 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	計 Total
人 間 発 達 文 化 研 究 科	専門職学位課程 (教職大学院) Professional Degree		16	15	11	12	12	8	74
Human Development and Culture	修士課程 Master	297	30	32	18	24	21	20	442
教育学研究科 Education	修士課程 Master	719							719
地 域 政 策 科 学 研 究 科 Public Policy and Regional administration	修士課程 Master	306	7	8	6	8	9	4	348
経済学研究科 Economics	修士課程 Master	414	14	9	9	18	15	14	493
	修士課程 Master				7	2			94
共生システム理工学研究科 Symbiotic Systems Science and Technology	博士前期課程 Master	264	43	37	40	31	46	49	510
	博士後期課程 Doctor	18	4	2	3	4	3	2	36
合 計	Total	2,103	114	103	94	99	106	97	2,716

[※] 教育学研究科は、平成24年度から在籍している学生がいない為、廃止

学部 FACULTY 2024.5.1

子司 FACULIY		2024.5.1
Classif 学部 'aculty	区 分 ication 課程及び学科 Course or Department	S25∼ H23 1950∼2011
教育学部 Faculty Education		21,264
小学校教員養成課程 Elementary	School Teachers Course	9,338
中学校教員養成課程 Junior High	n School Teachers Course	5,222
養護学校教員養成課程 Teacher	s Course for Mentally and Physically Handicapped Children	485
幼稚園教員養成課程 Kindergart	en Teachers Course	590
生涯教育課程 Department of Lif	elong Education	835
学校教育教員養成課程 Departm	ent of Teacher Training	1,337
特別教科(理科)教員養成課程 S	enior High School Teachers Course (Science Education)	601
特別教科(保健体育)教員養成課	程 Senior High School Teachers Course (Physical Education)	1,188
その他 Others		7
2年課程	小学校教員養成課程 Elementary School Teachers Course	1,004
Two Year Courses	中学校教員養成課程 Junior High School Teachers Course	657
政社会学部 Faculty of Administration ar	nd Social Sciences	4,554
昼間主コース	行政学科 Law and Administration Department	2,469
Daytime- centered Courses	応用社会学科 Sociology and Social Sciences Department	1,058
夜間主コース	行政学科 Law and Administration Department	620
Evening- centered Courses	応用社会学科 Sociology and Social Sciences Department	407
済学部 Faculty of Economics		15,353
	経済学科 Economics Department	6,211
	経営学科 Business Administration Department	4,197
昼間主コース	現代経済課程 Contemporary Economics Course	838
Daytime- centered Courses	企業経営課程 Business Management Course	1,206
	国際経済社会課程 International Economics and Society Course	599
	産業情報工学課程 Industrial Economics Engineering Course	151
	経済学科 Economics Department	919
夜間主コース	経営学科 Business Administration Department	717
Evening- centered Courses	現代経済課程 Contemporary Economics Course	205
	企業経営課程 Business Management Course	310
豆大 Junior College	経営学科 Business Administration Department	2,116
	合 計 Total	43,287

教育学部, 行政社会学部、経済学部は平成17年度から学生募集停止 小学校教員養成課程、中学校教員養成課程、養護学校教員養成課程、幼稚園教員養成課程は平成11年度から学生募集停止 生涯教育課程は平成7年4月設置 2年課程は昭和33年度から学生募集停止 経済学部経済学科、経営学科は平成8年度から学生募集停止 短大は昭和55年3月廃止

% 1 % 2 % 3 % 4 % 5 % 6

専 攻 科 ONE-YEAR GRADUATE PROGRAM

	修了年度 Year	S31∼H3 1956∼1991
專攻 Course		≣† Total
	保健体育専攻 Physical Education	30
教育専攻科 Education	教育専攻 Pedagogy	8
	理科専攻 Science Education	19
経済学専攻科 Economics	経理経営専攻 Acounting and Management	24

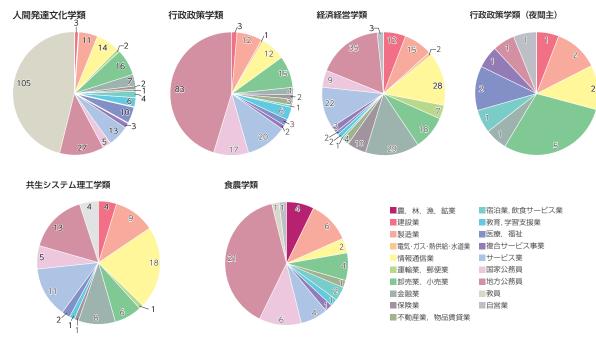


卒業生就職状況(令和5年度)

EMPLOYMENT AFTER GRADUATION

																202	24.5.1
	学類 Faculty 分 Classification		計 Sub Total	行政政策 学類 Faculty of Administration and Social Sciences	計 Sub Total	経済経営 学類 Faculty of Economics and Business Administration	計 Sub Total	夜間主コース (現代教養コース) Course of Liberal Arts for Modern Society	計 Sub Total	行政政策学類 (夜間主) Faculty of Administration and Social Sciences		共生システム 理工学類 Faculty of Symbiotic Systems Science	計 Sub Total	食農学類 Faculty of Food and Agricultural Sciences	計 Sub Total	合 Tot	計 al
卒 To	業 者 tal Graduates	112 152	264	101 98	199	157 60	217	2	2	11 9	20	117 35	152	43 48	91	543 402	945
京	就 職 者 otal Employed	93 136	229	88 96	184	146 56	202	1	1	9	17	64 19	83	25 29	54	426 344	770
	農,林,漁,鉱業 Agriculture, Forestry, Fishing, Mining													3	4	3	4
	建 設 業 Construction	2	3	3	3	8 4	12			1	1	3 1	4			13 10	23
	製 造 業 Manufacturing	5 6	11	6	12	12	15	1	1	2	2	7 2	9	2	6	33 23	56
	電気・ガス・熱供給・水道業 Electricity, Gas, Heat Supply and Water			1	1	1	2									2	3
	情報通信業 Information and Communications	6	14	7 5	12	18 10	28			1	2	14 4	18	1	2	47 29	76
	運輸業,郵便業 Transport and Postal Activities	1	2			4 3	7					1	1			6	10
	卸売業,小売業 Wholesale and Retail Trade	8	16	5 10	15	12	18			4	5	5 1	6	4	4	34	64
業種	金融業 Finance	1 6	7	2 2	4	20	29			1	1	6	8			30 19	49
別	保 険 業 Insurance	2	2	2	2	5	10					1	1			8 7	15
就	不動産業,物品賃貸業 Real Estate and Goods Rental and Leasing	1	1	2	3	3	4							1	1	7	9
職者	宿泊業,飲食サービス業 Accommodations, Eating and Drinking Services	1 3	4	1	1	1	1			1	1			2	2	4 5	9
内訳	教育,学習支援業 Education, Learning Support	5	6	2	6	1	2					1	1	1	1	9	16
<u>ы</u> /\	医療,福祉 Medical, Health Care and Welfare	4 6	10	3	3	1	2			1	2	1	2			7	19
	複合サービス事業 Compound Services	3	3	2	2	3	3			1	1			1	1	6	10
	サービス業 Service Industry	3 10	13	10 10	20	18 4	22					11	11	1 3	4	43 27	70
	国家公務員 National Government Services	2 3	5	9	17	8	9			i		3 2	5	3	6	25 17	42
	地 方 公 務 員 Local Government Services	9	27	40 43	83	29 6	35			1	1	8 5	13	10 11	21	97 83	180
	教 Teaching	45 60	105							i		3 1	4	1	1	49 61	110
	自 営 業 Self-Employment					2	3			1	1			1	1	3	5
	长 定 Indetermined	1 2	3	2	2	1	1			i		1	1			5	7
ĭ	董学者 furthering Studies	10 11	21	2	3	2 3	5					50 15	65	17 18	35	81 48	129
Ĭ P	差 学 準 備 Preparation for further study					1	1									1	1
								1	1	2	3			1	1	4	5
1	公務員等希望者 Preparing for Civil Exams	3 1	4	7	7	4	5					1	1			15 2	17
- 7		5 2	7	2	3	3	3					1 1	2	1	1	11	16
就	職率(%)Total Employment Rate 職者÷就職希望者(就職者+未定)	98.9% 98.6%	98.7%	97.8% 100.0%	98.9%	99.3% 100.0%	99.5%	100.0%	100.0%	100.0% 100.0%	100.0%	98.5% 100.0%	98.8%	100.0% 100.0%	100.0%	98.8% 99.4%	99.1%
	上段(黒)は男子,下段(赤)は女																

※ 上段(黒)は男子,下段(赤)は女子



外国人留学生数

NUMBER OF INTERNATIONAL STUDENTS

留学生数部局別内訳 FACULTIES					2024.5.1
区分 Classification	学 Undergrad	学院 e School	dž		
学類・研究科 Faculty・Graduate School	正規生 Students	研究生等 Research Students	正規生 Students	研究生等 Research Students	Total
人間発達文化学類 Faculty of Human Development and Culture 地域デザイン科学研究科(人間文化専攻) Graduate School of Regional Design Major in Human Culture and Science	12(11)	0	4(1)	0	16(1)(11)
行政政策学類 Faculty of Administration and Social Sciences 地域デザイン科学研究科(地域政策科学専攻) Graduals School of Regional Design Major in Public Policy and Regional Administration	3(2)	2	3(2)	0	8(2)(2)
経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration 地域デザイン科学研究科(経済経営専攻) Graduals School of Regional Design Major in Economics and Business Administration	24(1)(4)	16	3	2	45(1)(4)
共生システム理工学類 Faculty of Symbiotic Systems Science 共生システム理工学研究科 Graduate School of Symbiotic Systems Science and Technology	8(1)	1	(博士前期)4(1) (博士後期)4(4)	1	18(5)(1)
食農学類 Faculty of Food and Agricultural Sciences 食農科学研究科 Graduate School of Food and Agricultural Sciences	1	1	1	0	3
≣† Total	48(1)(18)	20	19(8)	3	90 (9) (18)

※教職実践研究科(教職大学院)は在籍留学生なし

国別留学生数 NATIONALITIES

2024.5.1

区分 Classification		類		学 院	
	Undergrad	uate School	Graduat	e School	計
	正規生	研究生等	正規生	研究生等	Total
国·地域 Nation·Region	Students	Research Students	Students	Research Students	
インドネシア Indonesia	2	0	0	0	2
タイ Thailand	1	0	0	0	1
韓国 Republic of Korea	1	0	0	0	1
中国 China	9	10	9	0	28
パキスタン Pakistan	0	0	1(1)	0	1(1)
バングラデシュ Bangladesh	0	0	3(3)	0	3(3)
ベトナム Viet Nam	14	1	1	0	16
マレーシア Malaysia	20 (18)	0	0	0	20(18)
モンゴル Mongolia	1(1)	0	0	0	1(1)
台湾 Taiwan	0	2	1	0	3
ブラジル Brazil	0	0	1 (1)	0	1(1)
ウクライナ Ukraine	0	0	0	1	11_
英国 United Kingdom	0	1	0	0	11_
セルビア Serbia	0	0	2(2)	0	2(2)
ドイツ Germany	0	5	0	1	6
ハンガリー Hungary	0	1	0	1	2
セネガル Senegal	0	0	1(1)	0	1 (1)
	48(1)(18)	7	19(8)	3	90(9)(18)

※ 青文字()は外国政府派遣留学生で内数

※ 留学生数は在留資格が「留学」の者を計上

奨 学 生

SCHOLARSHIP STUDENTS

2024.5.

								2024.5.1	
	区分	分分	日本学生	支援機構奨学生	Japan Studer	nt Services Orga	ınization	その他の 奨学生 Other Scholarship	
	Classification i·大学院 ulty · Graduate School	対象学生数 Number of Eligible Applicants	給付奨学金 Grant-type scholarship	貸与数 Loan-based 第1種 Loan 1	受学金 scholarship 第2種 Loan 2	≣† Total	比率(%) Ratio		
人文	人間発達文化学類 Faculty of Human Development and Culture	832	94	177	143	414	49.8%	14	
社会学群	行政政策学類 Faculty of Administration and Social Sciences	651	75	160	94	329	50.5%	6	
学群	経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration	687	68	154	116	338	49.2%	7	
理工 学群	共生システム理工学類 Faculty of Symbiotic Systems Science	516	50	113	86	249	48.3%	3	
農学群	食農学類 Faculty of Food and Agricultural Sciences	313	26	63	40	129	41.2%	6	
大	学 院 Graduate School	140	0	32	2	34	24.3%	8	
	合 計 Total	3,139	313	699	481	1,493	47.6%	44	

※ 基準日現在, 1年生は未決定のため除く。

附属学校の定員及び現員

OFF-CAMPUS K-12 SCHOOLS

														2024.5.1
	─ 区分	Cla	assific	ation	入学(園)定員	総定員			現		員 Preser	nt Number		
*********	0 1 1		_		Applicant	Student	1年	2年	3年	4年	5年	6年		計
学校別				_	Capacity	Capacity	1st year	2nd year	3rd year	4th year	5th year	6th year	Tot	al
附	禹 幼		稚	袁	30	90	3 才児	3 year olds	4才児	4 year olds	5 才児	5 year olds	32	65
Kinderg	garten				50	50	14	8	5	12	13	13	33	
附	属 小		学	校	105	630	45	51	51	51	55	51	304	617
Elemen	ntary School				103	030	60	50	51	52	48	52	313	017
附	属 中		学	校	140	420	70	74	68				212	418
Junior I	High Schoo				140	420	70	65	71				206	410
附属	特別:	支 技	援学	校	17	60	8	10	7	2	2	3	32	54
Special	l Needs Edi	ıcati	on Scl	nool	17	60	6	7	8	1	0	0	22	54
小八	ś	学		部	3	18	1	2	2	2	2	3	12	17
1-6	3				3	10	2	1	1	1	0	0	5	17
中	ě	学		部	6	18	2	3	2				7	1.4
7-9	9				0	10	2	3	2				7	14
高	4	等		部	0	2.4	5	5	3				13	22
	-12				8	24	2	3	5				10	23
	合	,	it .		202	1 200							580	4.454
	Tota				292	1,200							574	1,154

[※] 附属特別支援学校小学部は、1・2年、3・4年、5・6年で各1学級 計3学級

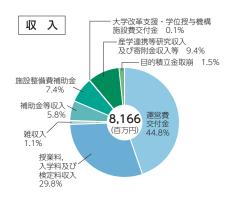
※ 黒文字は男子, 赤文字は女子



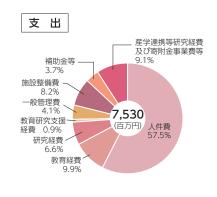
収入・支出決算額(令和5年度) ※金額は表示単位未満切捨てのため、必ずしも合計は一致しない。

CLOSING ACCOUNTS: REVENUE AND EXPENDITURE 2023

収 入 REVENUE		(百万円)
区 分 Division of Revenue	[令和5年度] Amount[2023]	[令和4年度] Amount [2022]
運 営 費 交 付 金 Total Grant for Management Expense	3,662	3,846
授業料,入学料及び検定料収入 Tuition and Examination Fees	2,430	2,379
財産処分収入 Income earned through Disposition of Property	_	_
雑 収 入 Miscellaneous Income	93	84
補助金等収入 Subsidy Income	477	390
施設整備費補助金 Subsidies for Maintenance of University Facilities	607	567
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金 Grant-in-Aid from the National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education for facilities maintenance	7	13
産学連携等研究収入及び寄附金収入等 Income from Industry-University Cooperative Research and Donations	765	679
引 当 金 取 崩 Reserve Fund Reversal	_	_
目 的 積 立 金 取 崩 Purpose Reserve Fund Reversal	122	213
合 計 Total	8,166	8,174



支 出 EXPENDITURE		(百万円)
区 分 Division of Expenditure	[令和5年度] Amount[2023]	[令和4年度] Amount [2022]
人 件 費 Personal Expenses	4,333	4,460
教育経費 Education Expenses	742	736
研究経費 Research Expenses	496	610
教育研究支援経費 Expenses for Supporting Education and Research	70	225
一般管理費Administrative Expenses	308	293
施 設 整 備 費 Supplies and Equipment Cost	614	580
補 助 金 等 Subsidy	277	186
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等 Budget for Industry-University Cooperative Research and Funding	687	686
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金 Payment to the National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education for facilities maintenance	_	_
合 計 Total	7,530	7,778



TOPICS

令和5年6月6日火に, 学長表彰表彰式を実施しました。



学長学術研究表彰は平成 26年度から実施しており、 平成28年度からは学長教育 表彰及び学長社会貢献表彰 が加わりました。

いずれの表彰もその目的は、 本学において優れた取組を 行い顕著な成果のあった教 員の業績をたたえることで

あり、また、それらの取組を学内外に広めることにより、本学の諸活動 を推進することにあります。

令和5年度の受賞者を含め、これまでの学長表彰受賞者は右記のとおりです。 ※所属は受賞当時

学長学術研究表彰 受賞者一覧

受賞年度	表彰区分		氏	名		所 属
H26 (2014)	学長学術研究表彰	小	Ш	良	太	経済経営学類
H27 (2015)	学長学術研究表彰	内	Ш	登網	己夫	人間発達文化学類
H27 (2015)	学長学術研究表彰	高	橋	隆	行	共生システム理工学類
H27 (2015)	学長学術研究表彰	青	Ш	道	夫	環境放射能研究所
H27 (2015)	学長学術研究功績賞	金	澤		等	共生システム理工学類
H28 (2016)	学長学術研究表彰	沼	Ш	大	輔	経済経営学類
H28 (2016)	学長学術研究奨励賞	高	貝	慶	隆	共生システム理工学類
H29 (2017)	学長学術研究表彰	齊	藤	公	彦	共生システム理工学類
H29 (2017)	学長学術研究奨励賞	平	野	智	久	経済経営学類
H29 (2017)	学長学術研究奨励賞	和	\blacksquare	敏	裕	環境放射能研究所
H30 (2018)	学長学術研究表彰	吉	\blacksquare		樹	経済経営学類
H30 (2018)	学長学術研究表彰	難	波	謙	=	共生システム理工学類
R1 (2019)	学長学術研究表彰	小	Ш	良	太	経済経営学類
R2 (2020)	学長学術研究表彰	佐名	え間 木	康修	之	人間発達文化学類
R2 (2020)	学長学術研究表彰	宗	形	潤	子	人間発達文化学類附属学校 臨床支援センター
R2 (2020)	学長学術研究表彰	長名	三 川	珠	子	行政政策学類
R2 (2020)	学長学術研究表彰	高	貝	慶	隆	共生システム理工学類
R2 (2020)	学長学術研究奨励賞	小け	‡土	賢	=	共生システム理工学類

科学研究費助成事業

GRANTS-IN-AID FOR SCIENTIFIC RESEARCH

令和5年度 Fiscal Year 2023

研究種目 Research Category	件数 Number	直接経費(千円) Direct Expenses (in thousand yen)	間接経費(千円) Indirect Expenses (in thousand yen)
学術変革領域研究 Grants-in-Aid for Transformative Research Areas	1	1,900	570
基盤研究(S) Scientific Research (S)	0	0	0
基盤研究(A) Scientific Research (A)	5	42,200	12,660
基盤研究(B) Scientific Research (B)	14	44,600	13,380
基盤研究(C) Scientific Research (C)	57	49,300	14,790
挑戦的研究 (開拓) Challenging Research Pioneering	1	4,000	1,200
挑戦的研究(萌芽) Challenging Research Exploratory	4	5,500	1,650
若 手 研 究 Early-Career Scientists	18	14,700	4,410
研究活動スタート支援 Research Activity Start-up	4	3,400	1,020
研究成果公開促進費(学術図書) Publication of Scientific Research Results (Scientific Literature)	1	1,500	0
研究成果公開促進費(データベース) Publication of Scientific Research Results (Databases)	0	0	0
特別研究員奨励費 Grant-in-Aid for JSPS Fellows	3	2,900	360
国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化) Fund for the Promotion of Joint International Research (Fostering Joint International Research)	1	0	0
合 計 Total	109	170,000	50,040

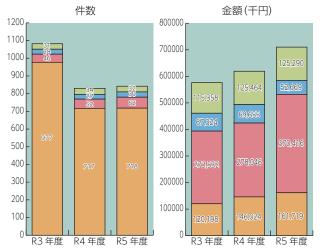


外 部

FUNDS FROM OTHER SOURCES

	令和5年度	Fiscal Year 2023
研究種目 Subject for Research	件数 Number	金額(千円) Amount
奨学寄附金 Grants and Endowments	718	161,719
受 託 研 究 Contract Research	62	370,416
共同研究 Cooperative Research	30	52,669
受託事業 Trustee Business	32	125,290
合 計 Total	842	710,094





受賞年度	表彰区分		氏	名		所 属
R3 (2021)	学長学術研究表彰	横	尾	善	之	共生システム理工学類
R3 (2021)	学長学術研究奨励賞	クリ	リス	レス	ナン	共生システム理工学類
R3 (2021)	学長学術研究奨励賞	吉	永	和	明	食農学類
R4 (2022)	学長学術研究表彰	佐	藤	理	夫	共生システム理工学類
R4 (2022)	学長学術研究表彰	新	\blacksquare	洋	司	食農学類
R5 (2023)	学長学術研究表彰	佐名	久間 木	康修	之 一	人間発達文化学類
R5 (2023)	学長学術研究表彰	今	西	_	男	行政政策学類
R5 (2023)	学長学術研究奨励賞	岡	野	夕暮	5里	食農学類
学長教育表彰	受賞者一覧					

受賞年度 H28 (2016) 学長教育表彰 和久 人間発達文化学類 宏 経済経営学類 H28(2016) 学長教育表彰 伊 藤 マッカーズランド・ フィリップ・リロイ H30 (2018) 学長教育表彰 経済経営学類 マクマイケル ウィリアム ダグラス ユージ R1 (2019) 学長教育奨励賞 経済経営学類 高 貝 慶山 口 克

共生システム理工学類

R5 (2023) 学長教育特別表彰

学長社会貢献表彰 受賞者一覧

JELLANIN	114 296 %					
受賞年度	表彰区分		氏	名		所 属
H28 (2016)	学長社会貢献表彰	白	石		豊	人間発達文化学類
H28 (2016)	学長社会貢献表彰	西	Ш	和	明	経済経営学類
H28 (2016)	学長社会貢献表彰	佐	藤	理	夫	共生システム理工学類
H28 (2016)	学長社会貢献表彰	丹	治	惣昇	毛衛	地域創造支援センター
H29 (2017)	学長社会貢献表彰	鈴	木	典	夫	行政政策学類
H29 (2017)	学長社会貢献表彰	冏	部	浩	_	行政政策学類
H29 (2017)	学長社会貢献奨励賞	蓮	沼	哲	哉	人間発達文化学類
H30 (2018)	学長社会貢献表彰	菊	地	芳	朗	行政政策学類
R2 (2020)	学長社会貢献表彰	Ш	﨑	興	太	共生システム理工学類
R3 (2021)	学長社会貢献表彰	本	多		環	うつくしまふくしま未来 支援センター
R3 (2021)	学長社会貢献奨励賞	髙	橋	有	紀	行政政策学類
R4 (2022)	学長社会貢献表彰	仲	井	康	通	地域未来デザインセンター
R5 (2023)	学長社会貢献表彰	岩	崎	由美	美子	行政政策学類





学術刊行物

ACADEMIC PUBLICATIONS

2024.5.1

		202	4.5.1
部 局 等 Division	刊 行 物 名 Name		丁回数 per year
福島大学 Fukushima University	福島大学研究年報 Annual Report of Fukushima University	1	
人 間 発 達 文 化 学 類	福島大学人間発達文化学類論集 Bulletin of The Faculty of Human Development and Culture	2	
Faculty of Human Development and Culture	福島大学教職実践研究 Annual Report of Research on Teaching Practice Fukushima University	1	
行 政 政 策 学 類 Faculty of Administration and Social Sciences	行政社会論集 The Journal of Administration and Social Sciences	4	
経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration	商 学 編 集 Journal of Commerce, Economics and Economic History	4	
保健管理センター Healthcare Center	福島大学保健管理センター紀要 Bulletin of the Healthcare Center	1	
地域未来デザインセンター	地域未来デザインセンター年報 Annual Report of Community Future Design Center	1	
Community Future Design Center	福島大学地域創造 Fukushima University Journal of Regional Affairs	2	
学校臨床支援センター School Clinical Support Center	学校臨床支援センター紀要 Bulletin of School Clinical Support Center	2	



学内施設等

CAMPUS FACILITIES

フクニチャージ図書館(附属図書館) FUKUNICHARGE LIBRARY (UNIVERSITY LIBRARY)

蔵 書 数 BOOKS AND PERIODICALS

2024 3 31

Inda Nam of		雑	誌 Periodic	als	
和書 Domestic	洋書 Foreign	Total	和書 Domestic	洋書 Foreign	計 Total
734.934	237,679	972,613	10,924	2,732	13,656

令和5年度利用状況 UTILIZATION

区 分		人 数 Persons		冊 数 Volumes	
区 分 Division		年 間 per year	一日平均 per day	年 間 per year	一日平均 per day
館外貸出 Loan		11,319	36.6	23,532	76.2
学 類 学 Undergrad		8,847	28.6	17,090	55.3
大学院等 Graduate St		886	2.9	2,171	7.0
教 職 Faculty an	員 d Staff	1,405	4.5	3,574	11.6
学 外 External	者 Jsers	181	0.6	697	2.3
入館者数 Number of Visitor	S	180,486	584		

開館日数 309日 Open 309 days (内土曜日45日) Saturday 45 days (内日祝日33日) Sunday and holiday 33 days

2020(令和2)年度以降、新型コロナウイルス感染症対策として利用制限等を行った影響により、例年より利用が減少している

文

Book collections

●大塚久雄文庫

The Hisao Otsuka Collection

故大塚久雄先生旧蔵の図書・雑誌・資料 を受贈。その数、合わせて図書6,058冊、 雑誌約212タイトル, 抜刷約1,682点, そ の他、ノート、原稿、講演テープ、色紙、 写真,住所録等個人資料一山。

●今野源八郎旧蔵書

The Genpachiro Konno Collection

故今野源八郎先生旧蔵の図書・雑誌・資 料を受贈。その数,和洋合わせて図書4,455 冊, 雑誌294タイトル, 資料13,553点, その他, パンフレット, リーフレット, 地 図, 抜刷, コピーなど一山。

●その他

藤本文庫, 藤田文庫, 栗原文庫, 二宮文庫, 大森文庫,川村重和教授旧蔵書,松井秀親 教授旧蔵書, 三宅皓士教授旧蔵書, 岡本友 孝教授旧蔵書, 佐藤恒久教授旧蔵書, 珠玖 拓治教授旧蔵書,下平尾勲名誉教授旧蔵書等。

大型コレクション

Large collection

- ●19~20世紀ロシア・ソビエト研究稀覯資料集 19th-20th century Russian and Soviet rare materials collection
- ●ロシア帝国・ソビエト連邦法令集 Collection of laws and ordinances of the Russian Empire and Soviet Union
- ●帝政ロシア及び現代ソビエト社会・経済 研究第1部、同第2部

nperial Russian government and ontemporary Soviet society: Economic search part 1 and 2

●体育教育の歴史

▼仲田水門以底X A collection of rare books in the history of physical education.EDUCATION FOR HEALTH & PUBLIC WELFARE; from the "survival" of the fittest" to "fitting the many to survive"

震災関連資料コーナー

Earthquake disaster related materials corner

東日本大震災の関連資料をはじめ、震災を原 発・ボランティア・郷土・教育・科学・防災・ 産業など多様な観点から扱った資料を配置。 図書・雑誌・視聴覚資料など2024(令和6) 年5月現在約9,500点。



フクニチャージ図書館(附属図書館)

FUKUNICharge Library (University Library) ☆福島大学は、福島日産自動車株式会社とネーミングライツ・パートナー契約を締結し、附属図書館の愛称を「フクニチャージ図書館」としている。



フクニチリーディングルーム (開架閲覧室) FUKUNICHI Reading Room



アリアコモンズ(ラーニングコモンズ) ARIYA Commons (Learning Commons)



情報基盤センターは、1969(昭和44)年に学内共同利用施設「計算センター」としてスタートした。その後、1987(昭和62)年に学術研究・情報教育の高度化・多様化、社会における一層の情報化進展に対応するために、「情報処理センター」に改組、さらに2003(平成15)年には教育研究・地域連携のための情報発信など多様な役割を担うべく省令施設に格上げされ、「総合情報処理センター」となった。2022(令和4)年には、遠隔授業実施やBYOD導入等、ICT環境の大幅な変化に伴い、センターに求められる役割、業務が大きく変革し、従来に増して学内の情報基盤や情報セキュリティ対策の整備運用を行うことから、「情報基盤センター」に名称を変更し、さらなる機能強化を図っている。

本センターは、「キャンパスネットワーク(FAINS:フェインズ)の運用・管理」、「本学の認証基盤となる全学認証システムの運用・管理」、「情報システムの利用についての技術指導」の他、全学的な情報セキュリティに関する業務を行っている。

環境放射能研究所(IER) Institute of Environmental Radioactivity



環境放射能研究所は、福島第一原発事故後の放射性核種の挙動を調査・解析する目的で2013年に設立された。国内外の大学・研究機関と連携し、大気、森林、河川湖沼、海洋など広範囲な研究分野をカバーしている。研究の成果は、放射線防護や効果的な除染方法の策定、住民の帰還や農林水産業をはじめとする産業の復興など、より具体的な復興活動の基礎となるほか、国際的な知見の共有も求められる。

2019年度に文部科学省「共同利用・共同研究拠点」に認定され、国内外の研究者と共同研究を展開している。また2023年度からは福島国際研究教育機構(F-REI)の事業に参画し、原子力災害に関するデータや知見を集積・発信している。

教育では2019年度に環境放射能学専攻修士課程を開設し、2021年度からは博士前期・後期課程の大学院教育を担っている。

今後も国内外への発信力の強化,次世代の環境放射能分野の課題を担う人材の育成を行っていく。

人間発達文化学類附属学校臨床支援センター School Clinical Support Center



2023年度4月より学校連携部門が廃止され、教育相談部門と現職研修部門の2部門の人間発達文化学類附属センターとしてスタートした。

教育相談部門は、教育臨床研修講座などを中心に、心理職・教員等の支援技術向上を支援するとともに、臨床心理・教育相談室を併設して子ども・大人の心の悩みについての相談を有料で行っている。また大学院、地域デザイン科学研究科人間文化専攻人間発達心理コース臨床心理領域の大学院生の教育にも協力している。現職研修部門は年2~3回、もしくは通年で開催している教職員研修講座の実施を中心に、福島県教育庁、市町村教育委員会、各学校の研修支援、先生方の授業づくり支援等を行なっている。また、教職実践研究科の院生の教育にも携わっている。2部門ともに、附属学校園を含む学校の教育・研究支援を行っている。また、特別教室と授業分析室の施設があり、広く活用されている。

共生システム理工学類附属水素エネルギー総合研究所 Hydrogen Energy Research Institute



水素エネルギー総合研究所は、2024年4月に共生システム理工学類附属研究所として設置された。

本研究所では、福島県の重点課題の一つである水素・再生可能 エネルギーに関する教育研究を推進するため、水素を中心とした 再生可能エネルギーの製造、貯蔵・輸送、利用、管理という一連 のエネルギー循環を強く意識した研究を行う。

今後は、これまでに本学が協定を締結した連携先と協力して教育研究体制を構築しながら、水素エネルギーを中核に据えた地方創生に取り組むため、地域の産学官が連携して魅力的な水素関連産業を創出するとともに、地域産業を担う専門人材を育成するための拠点となることを目指す。









食農学類附属発酵醸造研究所 Institute of Fermentation Sciences



発酵醸造研究所は、2021(令和3)年4月に食農学類附属研究所として設置された。研究所にはフードチェーンに沿って「①素材生産・環境部門、②発酵醸造食品部門、③食健康・社会実装部門」、また部門横断的な位置付けで大容量の情報・データを扱う「④データ科学部門」が配置されている。発酵醸造の総合的・学際的な研究プロジェクトを推進するため、4研究部門を統括する「研究統括部門」を配置し、研究所の管理・運営を行っている。

発酵醸造素材作物の生産から発酵微生物,発酵醸造食品とその機能までを 包含する総合的な基盤研究を展開している。

また、地域の農林水産業、食品関連産業に関連する課題解決型研究(ロー

カル)プロジェクトを産官学連携による橋渡し研究として推進する。さらにこれらの成果を国際的な課題,地球規模の課題の解決にも繋げる学際的先端(グローバル)研究として発展させることを目指している。

地域未来デザインセンター Community Future Design Center



福島大学では、「地域創造支援センター」と「うつくしまふくしま未来支援センター(以下、両センター)」を発展的に統合し、2022(令和4)年4月に新たに「地域未来デザインセンター(以下、「デザインセンター」)」を設置した。

デザインセンターでは、両センターの事業を継承するとともに、地域課題解決に向けた研究及び社会貢献を一層進めるために、地域・企業・自治体などと連携し様々なプロジェクトを起こしながらそれらを社会に提案し、地域創生に寄与することを目的としている。

さらに、学生含め学内外の人々が語り合い・アイデアを出し合う場と機会を創出するイノベーションコモンズを整えながら、福島の未来をつくるイノベーション人材を育てることも目的としている。

教育推進機構 Organization for the Promotion of Education

教育推進機構は、福島大学の教育理念と目標に基づき、本学の学士課程教育及び大学院課程教育の改善・充実を図るとともに学生の確保、国際交流、学生支援及び就職支援に関する調査・研究、企画立案及び実施を全学的に行うことを目的として、2019(平成31)年4月に設置した。本機構には、保健管理センター、国際交流センター、アドミッションセンター、教職課程センター、キャリアセンターを置いている。

保健管理センター Healthcare Center



1981(昭和56)年4月に設置され,1982(昭和57)年3月に専用の建物が竣工。同年4月より本格的に業務が開始された。本センターには、医師・保健師・看護師が配置されており、学生および教職員の健康の保持増進を図るために、保健管理に関する専門業務を行っている。具体的には、保健管理計画に企画及び立案、定期及び臨時の健康診断の実施と事後対応、精神的及び身体的健康相談、外傷・急病の応急処置、カウンセリングなどである。

また, 月に一度, 外部より, 婦人科(女性医師)の医師が来所し, それぞれが 専門の相談に応じている。

国際交流センター International Center



国際交流センターは、①海外の大学等との学術交流及び学生交流の企画・推進、②留学生教育の企画・立案、③教育研究面での国際交流を図ることを目的として、2012年(平成24年)4月に設立された。

本センターでは、学生の派遣及び受入、短期留学プログラムの企画・立 案及び留学生の修学上・生活上のサポートを行っている。留学生用宿舎で ある国際交流会館の管理運営も担当している。

センター内では、本学と学術・学生交流協定を締結している大学の情報や、留学の報告書なども閲覧することができる。

さらに、留学や語学学習に関する図書の貸出や、希望者には語学試験対策学習指導も提供している。留学に関わる生活や学習の相談、在留資格、地域のイベント案内、手続きなどもここで確認することができる。

アドミッションセンター Admission Center



アドミッションセンターは、アドミッションポリシーに応じた入学者選抜を実現するための具体的方策を企画・立案し、円滑な入学者選抜の実施を図ることを目的に、2016(平成28)年4月に設置された。

本センターは、高大接続改革の環境変化の下、本学が実施すべき選抜制度の実現にむけて、入学者選抜に係る調査研究、入学者選抜結果の分析及びその評価を行うとともに、新たな選抜制度を検討し、学類と連携協力して入学者選抜に係る企画・立案を行っている。併せて高大接続部門として、教育・研究による高校と大学の接続にむけて活動(進路講演、探究学習支援、高校教員との研究会等)している。

教職課程センター Center for Curriculum of Teacher Education

全学的観点から教職課程の運営および連絡調整にあたる組織として2022(令和4)年4月に教職課程センターが設置され、教職課程を有する5つの学類の連携や各種調整業務を行っている。

センターの主たる業務は①本学の教職課程の各段階において到達すべき基準「福島大学教職スタンダード」に基づく教職課程のカリキュラム・マップの策定,②教職履修学生の学習成果の記録と活用のための「教職履修カルテ」等のシステムの整備,③教職FD研修会の開催,④教職課程の自己点検・評価と結果公表などがある。

キャリアセンター Career Center

キャリアセンターは、大学における学生の多様なキャリア形成を図り、就職活動等を支援することを目的として、2022(令和4)年4月に設置された。キャリア教育部門、キャリア支援部門、渉外部門の3つの部門を設け、学類・大学院の教員と連携し、就職先等の開拓、情報共有を行い、学生が自らライフプランを考え、納得して進路決定ができるよう、学生の成長をサポートすることを目指している。学生向けには、キャリア相談員による書類添削、模擬面接を含めた個別相談を行っており、その他にも、OB・OG紹介、就職に関する書籍の貸出、ガイダンス・セミナー・合同企業説明会を企画・実施している。

また,企業等からの求人・アルバイト受付の他,採用担当者との面談も行っており,採用担当者とともに本学学生を対象とした学内個別説明会を開催している。



アクセシビリティ支援室 Accessibility support room



アクセシビリティ支援室は、障がいのある学生の支援を行うことを目的として、2015 (平成27) 年4月に設置され、障がいや疾患のある学生が他の学生と同じように大学生活を送ることができるための修学上の支援(合理的配慮)を行っている。

学生や保護者からの相談,授業担当教員や関係部署間のコーディネート, 学外の社会資源との連携のもと配慮を実施している。

また、PCノートテイク講座の開催や学習サポート、冬期間の除雪活動などの支援者となる学生サポーターの養成・派遣も実施しており、学生同士

で助け合う相互支援の経験を通してお互いの協同する力をつけていくことを目指している。

学生総合相談室 Student Counseling Office



学生総合相談室は、修学、生活、健康等の学生が抱える学生生活に関する問題・悩みなどへの支援体制を一本化し迅速に解決することを目的として、1998 (平成10) 年7月に設置された。

学生が大学生活で出会う様々な悩みや相談に対して、専門のカウンセラー (臨床心理士) 及び本学職員が対応している。学生の話を聞きながら、気持ちを整理し自分を見つめ直すサポートをするとともに、必要に応じて学内の適切な部署への紹介も行なっている。

また、居場所作り支援として談話室を休憩や勉強できる場として開放する ことや、仲間づくりを目的としたイベントや講座等を実施し、困ったときに相談しやすい環境づくりに努めている。

「地域×データ」実践教育推進室 Center for Region × Data (Data-based Regional Studies)



令和5年4月,教育推進機構内に新設されました。地域の現場に根差しながら課題を実証的に発見・分析・解決する力を身につけ,地域における EBPM (Evidence Based Policy Making:証拠に基づく政策立案)に精通した人材の育成をミッションとし,全学的な実践教育プログラムである「地域×データ」実践教育プログラムの開発・運営を行っています。福島大学の強みであるフィールドワークなど「地域実践教育」と,これからの時代の人材に求められる「データサイエンス実践演習」の高度な融合を目指します。

研究推進機構 Organization for the Promotion of Research

研究推進機構は、福島大学における教員の個人的及び集団的研究活動並びに地域社会との円滑な連携協力活動を支援するとともに、本学の知的財産の保護、育成、管理及び活用を効率的に推進することにより、本学の研究活動の活性化並びに社会貢献を積極的に果たしていくことを目的として、2005(平成17)年5月に設置された。研究活動推進、地域連携及び知的財産に係る学内組織と相互に連携し、その総合調整を図る。





生 寮 Dormitories



			2024.5.1
寮 名 Name	如月寮 Kisaragi Dormitory	信夫寮 Shinobu Dormitory	葵 寮 Aoi Dormitory
構造・面積 Structure・Area	R 5 F 3,466㎡	R 4 F 2,701㎡	R 4 F 2,654㎡
収容対象 Occupants	男子学生 Male	男子学生 Male	女子学生 Female
室 Bedrooms	200	150	150
収容可能人員 Capacity	200	150	150
現 Present Occupancy	169	122	142

大学会館 University Hall



大学会館 University Hall



大食堂(Dining ReaF) Large Cafeteria



大食堂(Dining ReaF) Large Cafeteria



			2024.5.1
	施設名 Facilitie	面積(㎡) Area	席・畳数 Capacity
1	大 食 堂(Dining ReaF) Large Cafeteria	1,046	700席
階 (1F)	売 Shop	294	
	Quick Lunchグ リーン Quick Lunch Green	200	125席
	ロ ピ ー Lobby	98	
	大 集 会 室 Large Assembly Hall	270	250席
,	小 集 会 室 Small Assembly Hall	35	32席
	"	46	32席
2 階 (2F)	和 室 Japanese Room	32	12畳
,	学生総合相談室 Student Counseling Office	35	
	アクセシビリティ支援室 Accessibility support room	35	
	カウンセリングルーム Counseling room	18	
	"	18	
	学生総合相談室分室 Student General Consultation Room Branch Office	22	
	厨房・その他 Kitchen and Others	1,035	

サテライト等

SATELLITE ETC.

街なかブランチ舟場 Machinaka Branch FUNABA



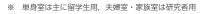
街なかブランチ舟場は、2009(平成21)年10月1日、福島市舟場町の職員会館を改修し、教職員の福利厚生施設及び地域との連携を推進する拠点施設として設置され、以下の事業に使用されている。

- ●地域社会、地域住民の福祉・文化の向上を支援 ○地域の皆様を対象とした公開講座やセミナーなどを開講 ○地域の皆様からの臨床心理・教育相談に対応
- ●産官学連携事業
 - ○技術相談, 共同研究, 受託研究等
 - ○セミナー,会議の開催
- ●本学教員の教育研究活動
 - ○講演会, 研究会の開催
 - ○ゼミ,フィールド調査時の拠点等



国際交流会館 International House

		2024.5.1
名 称 Room	1 室当り面積 (㎡) Area	部屋数 Number of Rooms
単 身 室 Studio	12	38
夫 婦 室 One-Bedroom	35	5
家族室 Two-Bedroom	52	2
多 目 的 ホ ー ル Multipurpose Hall	112	1
和 室 Japanese Room	24	1
ランドリールーム Laundry Room	14	2
談 話 室 Lounge	14	2
事 務 室 Office	19	1







福島大学東京連絡事務所(東京都渋谷区)

Fukushima University Tokyo Liaison Office (Shibuya Ward, Tokyo)

本学学生が首都圏での就職活動やゼミ活動の連絡場所として、また、入試広報等の活動拠点とする目的のため、福島大学信陵同窓会東京信陵会[信陵会館]内に2006(平成18)年4月1日に開設。

地域未来デザインセンター相双地域支援サテライト (富岡サテライト, 浪江サテライト)

Soso Area Support Satellite (Tomioka Satellite, Namie Satellite)

地域未来デザインセンターは,東日本大震災及び原発事故に伴い避難を余儀なくされた福島の被災者と被災地域の復旧・復興の支援に取り組んでおり,相双地域支援サテライトは,現地と大学を繋ぐ拠点として被災地域に密着した活動を行っている。





土地・建物面積

PROPERTIES

土地(㎡) Land

432,894

18,804

34,808

12,031

5,033

5,439

5,843

1,249

997

19,187

2,185

8,769

1,753

5,788

554,780

校

家

荘

庫

場

宅

部 局 等 Division

事務局・学類・附属図書館 Head Office・Faculties・Library

附属 小 Elementary School

附属中学 Junior High School

附属特別支援学校 Special Needs Education School

国際交流会館 International House

街 な か ブ ラ ン チ 舟 場 Machinaka Branch FUNABA

桜 木 町 住 Sakuragicho Accommodation

野 田 住 Noda Accommodation

松 浪 住 Matsunami Accommodation

Ш の Mountain Lodge

如 Joshunso

艇 Boathouse

農 Farm

附属幼稚 Kindergarten

	2024.5.1	:
建物 (延㎡) Building	備 考 Location	- i
94,921	金谷川 Kanayagawa	İ
9,018	新浜町 Shinhama-cho	
6,177	浜田町 Hamada-cho	
4,307	八木田 Yagita	. :
615	浜田町 Hamada-cho	1
1,412	舟場町	
402	Funaba-cho	
419	高 湯 Takayu	1
273	森 合 Moriai	, 1
342	木 幡 Kohata	
0	松川町 Matsukawa-machi	
1,461	桜木町 Sakuragi-cho	
4,675	野田町 Noda-machi	
1,338	松浪町 Matsunami-cho	· •
0		
125,360		

金谷川団地屋外体育施設の現況 OUTDOOR SPORTS FACILITIES

名 称 Name	内 容 Area	
陸 上 競 技 場 Athletic Field	400mトラック (第4種公認) 全天候	1面
バレーボールコート Volleyball Courts	(夜間照明)	5面
テニスコート Tennis Courts	(一部全天候・夜間照明)	10面
プ - ル Swimming Pool	9コース 50m	1基
ハンドボールコート Handball Courts		1面
野 球 場 Baseball Field	両翼90m,中堅100m (夜間照明)	1面
サッカー・ラグビー場 Football Field	(夜間照明)	1面
ゴ ル フ 練 習 場 Golf Field	9打席	1面
馬 Riding Ground		1面

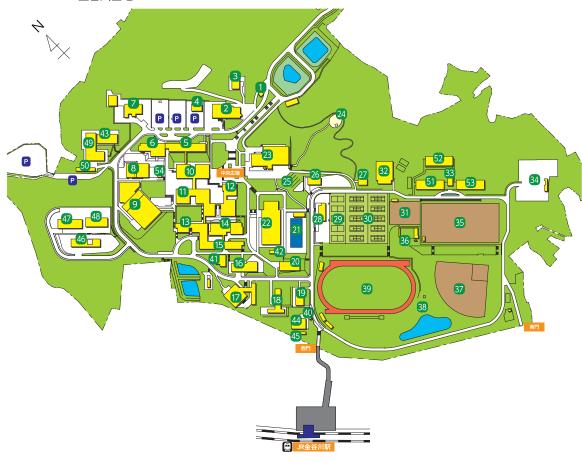
金谷川団地建物の現況 CAMPUS FACILITIES

名称	HACILITIES 描	延面積 (m)
Name	情 垣 Structure	延則模 (m) Space
人間発達文化学類棟 Faculty of Human Development and Culture	SR7F	5,979
行政政策学類棟 Faculty of Administration and Social Sciences	SR8F	5,690
経済経営学類棟 Faculty of Economics and Business Administration	SR8F	6,710
共生システム理工学類棟	SR7F	5,855
Faculty of Symbiotic Systems Science 附属図書館		
University Library 保健管理センター	R3F • 4F	10,638
Healthcare Center	R2F	441
情報基盤センター Information Technology Center	R3F	2,204
学校臨床支援センター/地域未来デザインセンター School Clinical Support Center/Community Future Design Center	R4F	1,995
食農学類管理棟 Administration Building, Faculty of Food and Agricultural Sciences	R5F	2,530
食農学類研究棟 Research Building, Faculty of food and Agricultural Sciences	R5F	4,388
農機具置場	S1F	198
Farm Machinery Center 環境放射能研究所本棟	SR6F	3,994
Institute of Environmental Radioactivity (Main Building) 環境放射能研究所試料保存棟		
Sample Storage Facility	S1F	583
環境放射能研究所分析棟 Analytical Laboratory	S2F	1,360
事務局棟 Headquarters	R4F	2,440
学生活動センター Building for Student Council	S2F	229
S 講義棟 Lecture Halls-S	R4F	4,360
M 講 義 棟	R3F	2,755
Lecture Halls-M L 講義棟	R1F	1,621
Lecture Halls-L 体育館		
Gymnasium	RS1F • 2F	2,652
第 2体育館 2nd Gymnasium	RS2F	1,126
保健体育棟 Health and Physical Education Bldg.	R2F	924
音 楽 棟 Music Bldg.	R3F	1,042
美術棟 Fine Arts Bldg.	R2F	1,267
共生システム理工学類研究実験棟	S7F	6,857
SSS Research Laboratory 理工共通棟	R1F	404
SSS Technical Laboratory 共生システム理工学類後援募金記念棟		
Memorial Laboratory of Supporter's Fund for Faculty of Symbiotic Systems Science	RC1F	334
プレハブユニット棟 Temporary Administration Building	S2F	121
宇宙線測定室 Cosmic Rays Observatory	S1F	43
大学会館 University Hall	R2F	3,184
文化系サークル棟 Building for Student Societies	R3F	885
体育系サークル棟	R2F	710
Varsity Building 合宿研修施設	R1F	174
Training House 弓 道 場(5人立)	S1F	120
Archery Field 学生寮管理棟	R1F	260
Dormitory Administration Office // 如月寮	R5F	
Kisaragi Dormitory // 信夫寮		3,466
Shinobu Dormitory	R4F	2,701
// 葵 寮 Aoi Dormitory	R4F	2,654
警務員室 Security Office	R1F	34
西門警務員室 Security Office	R1F	10
車 庫 Garage	R1F	219
中央機械室	R2F	883
Power Supply Center 受水槽ポンプ室	R1F	130
Pump Room 中水処理施設		
Sewage Disposal Plant その他	RS1F	116
Others		635
≣† Total		94,921

建物配置図

CAMPUS MAP

金谷川団地 KANAYAGAWA CAMPUS



- ① 警務員室 Security Office
- ② 事務局棟 Headquarters
- ③ 保健管理センター Healthcare Center
- ④ 車 庫 Garage
- ⑤ 経済経営学類棟 Faculty of Economics and Business Administration
- ⑥ 行政政策学類棟 Faculty of Administration and Social Sciences
- ⑦ 中央機械室・受水槽ポンプ室 Power Supply Center・Pump Room
- ⑧ 情報基盤センター Information Technology Center
- 9 附属図書館 University Library
- ⑩ S 講義棟 Lecture Halls-S
- ① M講義棟 Lecture Halls-M
- ⑫ L 講義棟 Lecture Halls-L
- ③ 人間発達文化学類棟 Faculty of Human Development and Culture
- ④ 共生システム理工学類研究実験棟 SSS Research Laboratory
- ⑮ 共生システム理工学類棟 Faculty of Symbiotic Systems Science ⑯ 学校臨床支援センター/地域未来デザインセンター
- School Clinical Support Center/Community Future Design Center
- ⑰ 美術 棟 Fine Arts Bldg.
- 18 音 楽 棟 Music Bldg.
- (9) 理丁共诵棟 SSS Technical Laboratory
- ② 保健体育棟 Health and Physical Education Bldg.
- ② プ ー ル Swimming Pool
- ② 体育館 Gymnasium
- ② 大学会館 University Hall
- 24 信陵公園 Shinryou Park
- ② 野外ステージ Outdoor stage
- ② 文化系サークル棟 Building for Student Societies
- ② 合宿研修施設 Training House
- 28 体育系サークル棟 Varsity Building
- ② バレーボールコート Volleyball Courts

- 30 テニスコート Tennis Courts
- ③ ハンドボールコート Handball Courts ② 第2体育館 2nd Gymnasium
- ③ 学生寮管理棟 Dormitory Administration Office
- 34 馬 場 Riding Ground
- ③ サッカー・ラグビー場 Football Field
- 多 弓 道 場 Archery Field
- ⑨ 野 球 場 Baseball Field
- 38 ゴルフ練習場 Golf Field
- ⑨ 陸上競技場 Athletic Field
- 40 西門警務員室 Security Office
- 4) 共生システム理工学類後援募金記念棟 Memorial Laboratory of Supporter's Fund for Faculty of Symbiotic Systems Science
- @ プレハブユニット棟 Temporary Administration Building
- ④ 食農学類管理棟

Administration Building, Faculty of Food and Agricultural Sciences

- ④ 中水処理施設 Sewage Disposal Plant
- 46 宇宙線測定室 Cosmic Rays Observatory
- ⑯ 環境放射能研究所分析棟 Analytical Laboratory
- ④ 環境放射能研究所本棟

Institute of Environmental Radioactivity (Main Building) 48 環境放射能研究所試料保存棟 Sample Storage Facility

- 49 食農学類研究棟
- Research Building, Faculty of Food and Agricultural Sciences 農機具置場 Farm Machinery Center
- ⑤ 如 月 寮 Kisaragi Dormitory
- ② 信 夫 寮 Shinobu Dormitory ⑤ 葵 寮 Aoi Dormitory
- ら 学生活動センター Building for Student Council





建 物 配 置 図





福島大学 Fukushima University



附属学校園 Off-Campus K-12 Schools

■附属小学校 Elementary School





- ① 小学校校舎(南校舎) School Building(south school building)
- ② // (北校舎) (north school building)
- ③ 小学校体育館 Gymnasium

■附属中学校 Junior High School





- ① 中学校校舎 Junior High School Building
- ② // 体育館 Gymnasium
- ③ 幼稚園園舎 Kindergarten
- ④ // 幼児教育センター Early Childhood Education Center

■附属幼稚園 Kindergarten



■附属特別支援学校 Special Needs Education School





- ① 特別支援学校校舎(小学部) School Building (1-6)
- (中学部)
 - (7-9)
- // (fic. (10-12) (高等部)
- ④ // 体育館 Gymnasium
- ⑤ // 木工室
- Woodworking Room
- ⑥ // 日常生活訓練施設 Training Facility

部局等の所在地案内図

LOCATION OF OFFICES

交通機関案内 TRANSPORTATION

① 福島大学 Fukushima University JR東北本線「金谷川駅」下車徒歩10分

Take the Tohoku-Line from Fukushima Station to Kanayagawa Station, which takes about 10 minutes. Then about 10 minutes on foot.

② 附属小学校 Elementary School 福島交通福島駅東口バス発着所から市内循環 1 コース約10分,「附属小前」下車

Take the "Round 1" course bus at the east side of Fukushima Station, and get off at "Fuzokusho". (It takes 10 minutes)

③ 附属中学校 Junior High School 附属幼稚園 Kindergarten

福島交通福島駅東口バス発着所から伊達・藤田・ 保原方面行乗車、約8分、「東高校前」下車徒歩 5分

Take the bus for "Date •Fujita •Hobara" at the east side of Fukushima Station, and get off at "Higashiko". It takes about 8 minutes, then 5 minutes on foot.

④ 附属特別支援学校

Special Needs Education School

福島交通福島駅東口バス発着所から荒井・土湯 方面行乗車約15分、「福島ふそう前」下車徒歩5 分

Take the bus for "Arai Tsuchiyu" at the east side of Fukushima Station, and get off at "Fukushima-Fuso" It takes 15 minutes, then 5 minutes on foot.

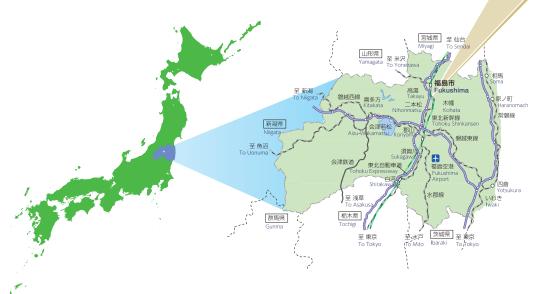
⑤ 国際交流会館

International House

福島大学サテライト「街なかブランチ舟場」

Fukushima University Satellite [Machinaka Branch FUNABA]









部局等の所在地及び電話番号

CONTACT ADDRESSES

	部局等			電型話番号	2024.5.1 所 在 地	
	Division 人間発達	文 化 学	類	Telephone	Address	
人文社会学群	Faculty of Human Develop	ment and Culture		024-548-8103		
	行 政 政 Faculty of Administration a	策 学 and Social Sciences	類	024-548-8253		
群	経済経 Faculty of Economics and	営 学 Business Administra	類 ation	024-548-8353	〒960-1296 福島市金谷川1番地	
理工学群	共生システ Faculty of Symbiotic Syste	ム 理 エ 学 ms Science	類	024-548-5213		
食農群	食 農 Faculty of Food and Agricu	学 ultural Sciences	類	024-548-8212		
附 University L	属 図 Library	書	館	024-548-8083	〒960-1293 福島市金谷川1番地	
保 健 Healthcare		ンタ	_	024-548-8068		
国 際 Internationa		ン タ	-	024-503-3066		
アドミッションセンター Admission Center		024-548-8052				
人間発達文化学類附属学校臨床支援センター School Clinical Support Center		024-548-8110				
情 報 Information	基盤 セ Technology Center	ン タ	-	024-548-8018		
	未 来 デ ザ イ Future Design Center	ンセンタ	-	024-548-8012	〒960-1296 福島市金谷川1番地	
環 境 Institute of	放射能 Environmental Radioactivity	研 究	所	024-504-2114		
事 Administrat	務 tion Bureau		局	学 長 室 024-548-5224 監		
如 Kisaragi Do	月 prmitory		寮			
信 Shinobu Do	夫 prmitory		寮		〒960-1248 福島市金谷川5番地	
葵 Aoi Dormito	ory		寮			
					。 《平成12年地名変更 金谷川←松川町浅川字直道 「	
附 Kindergarte	属幼 en	稚	園	024-534-7962	〒960-8107 福島市浜田町12番39号	
附 Elementary	属 小 School	学	校	024-534-6441	〒960-8022 福島市新浜町4番6号	
附 Junior High	属 中 n School	学	校	024-534-6442	〒960-8107 福島市浜田町12番26号	
附 属 Special Ne	特別支 eds Education School	援 学	校	024-546-0535	〒960-8164 福島市八木田字並柳71番地	
围 Internationa	際 交 流 al House	会	館	024-521-2428	〒960−8103	
街 な Machinaka	か ブ ラ こ Branch FUNABA	ン チ 舟	場		福島市舟場町 4番30号	
如 Joshunso	春		荘		〒960-8003 福島市森合字台13番地9号	
艇 Boathouse			庫		〒964-0203 二本松市木幡字西和代191番地9号	
桜 Sakuragich	木 町 no Accommodation	住	宅		〒960-8133 福島市桜木町8番1号	
野 Noda Acco	⊞ ommodation	住	宅		〒960-8055 福島市野田町五丁目7番	
松 Matsunami	浪 Accommodation	住	宅		〒960-8114 福島市松浪町1番29号	

Fukushima University Fund

基金の概要

福島大学基金は、本学の全学的な事業を支援する「一般基金」と、使途をあらかじめ特定した上でご寄附いただく「特定基金」で構成しております。寄附者の皆様のご期待やご意思に応えるべく有効に活用させていただきます。一定額以上のご寄附をいただける場合は、寄附者様のご意向をお聞きし、ご芳名を冠する「冠基金」とすることができますので、冠基金をご希望される場合は、基金事務局(総務課校友会・基金支援室)までご連絡ください。

一般基金

大学全体の活動を広く支援する基金です。以下の支援事業に活用させていただきます。

- 1. 大学の発展・充実に資する事業
- 2. 研究推進事業
- 3. 教育•学生支援事業
- (1).学生支援事業
- (2).国際交流事業
- (3).学生教育環境整備事業
- (4)-ア.その他事業(課外活動への支援)
- (4)-イ.その他事業(就職活動への支援) ※企業・団体のみ(一口10万円から)
 - ・Aコース 福島大学応援パネル
 - ・Bコース 合同企業説明会等への優先参加
- ・Cコース デジタルサイネージ

冠基金

(令和6年7月現在)

- •本庄照子基金
- ・ネットワンシステムズ奨学金基金

特定基金

寄附者様に使途を特定いただき、その事業を支援する基金です。

福島大学しのぶ育英奨学金基金 福島大学農学支援基金

福島大学経済経営学類創立100周年記念教育支援基金

√ 大学の発展・ 充実に資する事業

本学の教育・研究・学生サービス等のより一層の充実を図る事を目的とし、社会貢献及び連携事業、学内環境(施設設備を含む)整備等に関する事業に活用いたします。



震災・復興展示コーナー 「東日本大震災 福島大学の記憶」開設

研究推進事業

学術活動,地域交流活動及び学生を含めた国際交流活動などの学術振興の一層の進展を図るために,研究推進に関わる様々な事業へ助成を行っています。

教育•学生支援事業

地域の再生復興を見据えながら, グローバル化が進展 する社会で活躍できる「強い人材」の育成をめざし、学 生が存分に勉学に励み, 国際性を育み, 社会的実践力 を身に付けることができるような教育環境を整備する ことを目的とし, 以下の事業を支援します。

- ① 学生支援事業 ② 国際交流事業
- ③ 学生教育環境整備事業
- ④ その他事業 (課外活動や就職活動への支援を実施)



令和5年8月実施の「韓国短期語学研修」の様子(福島大学基金で支援)



令和5年8~9月実施の「オーストラリア短期語学研修」の様子(福島大学基金で支援)

ご協力をお願いする金額

法人・団体様(一口 1万円)

個 人 様(一口5千円)

ご寄附の方法

- 郵便振替 銀行振込
- クレジットカード決済 コンビニ決済

振〉込

- ・福島大学基金パンフレット添付の「払込取扱票」により銀行の窓口でお振込みをお願いします。ご希望の方には、パンフレットをお送りいたしますので、下記お問い合わせ先までメールまたはお電話にてご連絡ください。
- 福島大学基金ホームページ内からもお手続きが可能となって おりますので、以下 QR コードをご参照ください。



福島大学 総務課 校友会・基金支援室 〒 960-1296 福島市金谷川 1 番地 TEL:024-503-4991 /FAX:024-548-3180/E-mail:kikin@adb.fukushima-u.ac.jp



- ○全体の形は, 福島大学の頭文字[F]を表している。
- ○縦長の長方形は、大地(地域)にしっかりと根を下ろしている様を、上の二枚の葉は、伝統に根ざし発展する「人文社会学群」と新たに創設された「理工学群」及び「農学群」を表している。
- ○下の葉は学生の新しい芽吹きを想起させる「若草 色」上の葉は変化と調和を感じさせる「青のグラ デーション」
- ○その躍動感あふれるフォルムには、軽やかで爽やかな風が吹き抜けるキャンパスで21世紀的課題に果敢に挑戦する人材を育成したいという願いが託されている。



【令和6年7月 発行】

福島大学総務課

〒960-1296 福島市金谷川1番地 TEL 024-548-5190 https://www.fukushima-u.ac.jp/